

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
(分担)研究報告書

保健所における HIV 検査・相談の現状評価と課題解決に向けての研究

研究分担者：土屋 菜歩（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門）
研究協力者：佐野 貴子（神奈川県衛生研究所）、今井 光信（田園調布学園大学）、
須藤 弘二、加藤 真吾（株式会社ハナ・メディテック）、
貞升 健志（東京都健康安全研究センター）、大木 幸子（杏林大学）、
川畑 拓也（地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所）、
生島 嗣（特定非営利活動法人ぶれいす東京）、堅多 敦子（東京都立駒込病院）、
根岸 潤（東京都福祉保健局）、城所 敏英（東京都新宿東口検査・相談室）、
今村 顕史（東京都立駒込病院）

研究要旨

本研究は、保健所・検査所における HIV 検査の現状と課題を把握し、解決策を検討することを目的としている。今年度は、全国の保健所等を対象とした HIV および梅毒検査相談に関するアンケート調査を行った。COVID-19 が検査・相談に与えた影響を評価するため、COVID-19 による検査・相談実施体制の変化の有無とその詳細を問う質問を設けた。

アンケート調査は郵送で 2022 年 1 月に実施し、2021 年 1 月～12 月までの情報を得た。回収率は COVID-19 の第 6 波の最中であったことも影響し、保健所等で 40.5% (212/523 施設)、特設検査相談機関（以下特設）で 82.3% (14/17 施設) と保健所等で昨年よりもさらに低いものとなった。アンケートを回収できた保健所 212 施設中、HIV 検査相談を実施した 196 施設で 2021 年の 1 年間に行った HIV 検査の総数は 18,933 件、陽性は 63 件 (0.33%) であった。特設 14 施設での HIV 検査の総数は 16,537 件で、陽性は 125 件 (0.76%) であった。ブロック別の回収率は、関東甲信越で 32.5% と最も低く、HIV 検査件数は近畿ブロックが 7,787 件で最多であった。アンケートを回収できた保健所の 90.7%、特設の 50.0% で梅毒検査を実施していた。保健所、特設での梅毒検査での陽性率はそれぞれ 3.8%、3.6% であった。日本語の不自由な外国籍者への対応として、通訳者の利用と翻訳アプリの活用が外国語資料の利用を上回った。COVID-19 流行下で人員不足や感染対策が十分に取れないことを理由に、検査・相談の一時休止、縮小などの変化があったと回答した保健所は 65% に上った。COVID-19 流行下での検査・相談の工夫として、感染対策の徹底、電話相談や DVD による説明、地元誌や SNS を活用した広報などが挙げられた。

A. 研究目的

我が国の新規発生報告件数はほぼ横ばいの状態が続いており、新規発生報告に占める AIDS 患者の割合は 30% 前後で推移している。保健所等検査施設における HIV 抗体検査の陽性件数は全体エイズ動向委員会の報告数の約 45% に相当し、HIV 陽性者同定に重要な役割を担っている。また、梅毒を含む性感染症の同時検査は、HIV と

併せたスクリーニング、予防啓発の機会となり得る。2020 年からの COVID-19 流行に伴い、保健所の業務は逼迫し HIV 検査・相談の件数は大きく減少した。公衆衛生学的有事においても HIV 検査・相談の機会を維持できるような方策を検討するため、本年は全国の保健所等を対象に、COVID-19 流行下の状況も含め、HIV および梅毒検査相談の実施状況と課題を明らかにすることを目的とした。

B.研究方法

「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」、「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

全国の保健所およびその支所等 523 箇所の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 17 箇所の特設 HIV 検査相談施設を対象に、2022 年 1 月に HIV 検査相談および梅毒検査に関するアンケート調査を郵送で実施した。アンケートでは 2021 年 1-12 月の HIV 検査・相談の実施体制を中心に、検査件数、陽性数、検査・相談の実施に関する課題や工夫についての質問内容とした。質問項目は、過去に実施された保健所・検査所対象のアンケート調査の質問の内容を参考にした他、過去の調査結果や報告書から収集した情報に基づき、今後の対策に必要と考えられる質問項目を設定した。さらに、COVID-19 の流行が検査・相談の実施体制に与えた影響を考慮し、COVID-19 流行下における HIV 検査・相談の実施体制に関する質問項目を設けた。ブロック別の検査数および陽性率についての集計・解析も行った。

C.研究結果

「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」、「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 523 施設中 212 施設から回答を得た（回収率 40.5%）。特設検査相談機関（以下特設）については、対象とした 17 施設中 14 施設（82.3%）から回答を得た。

1) 「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」調査

①HIV 相談・検査の実施率と実施体制

回答のあった保健所等 212 施設のうち 196 施設（92.5%）が現在 HIV 検査を実施していた。HIV 検査の実施体制（208 施設が回答）については、通常検査のみが 57 施設（27.4%）、即日

検査のみが 115 施設（55.3%）、通常検査と迅速検査どちらも実施が 36 施設（17.3%）であった。平日夜間、土日に検査を行っている施設はそれぞれ 48 施設（23.1%）、5 施設（2.4%）であった。特設においては、通常検査のみが 4 施設（28.6%）、即日検査のみが 10 施設（71.6%）であった。平日夜間、土日に検査を行っている特設はそれぞれ 2 施設（14.3%）、11 施設（78.6%）と土日に検査を行っている特設が大部分であった。

即日検査は保健所、特設とも予約制で実施している施設がほとんどであり、通常検査でも半数以上の施設が予約制で実施していた。保健所、特設とも、スクリーニング検査が陽性だった場合、確認検査は他施設に依頼すると回答した施設が即日検査でも通常検査でも 80%を超えていた。

②HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査を同時に行っていると回答した保健所等施設は、208 施設中 201 施設（96.6%）であった。同時に行っている検査で最も多かったのは梅毒検査（189 施設、94.0%）であり、B 型肝炎（140 施設、69.7%）、C 型肝炎（133 施設、66.2%）が次いで多かった。特設においては 14 施設中 7 施設（50.0%）で他の性感染症検査を行っており、梅毒検査は 7 施設すべてで行っていた。次いで、クラミジア、B 型肝炎、淋菌の検査を行っている施設がそれぞれ 2 施設ずつあった。

③HIV 検査数と陽性件数

196 保健所で 2021 年に行った HIV 検査の総数は 18,933 件で、陽性は 63 件（0.33%）であった。陽性者のあった保健所は 36 施設（18.4%）であった。四半期ごとの検査件数、確認検査陽性の件数について、時期による明らかな差は認められなかった。一方、回答のあった特設 14 施設で 2021 年に行った HIV 検査の総数は 16,537 件で、陽性者のあった特設は 12 施設（85.7%）、陽性は 125 件（0.76%）であ

った。四半期ごとの検査件数、陽性数に大きな違いは見られなかった。ブロック別の集計で最もアンケートの回収率が高かったのは北海道ブロックで60.0%、最も低かったのは関東甲信越で32.5%であった。HIV検査数は近畿ブロックで7,787件と多く、陽性件数も近畿ブロックで30件（と最多であった）。

④年間検査件数別保健所数およびその陽性率

保健所においては、年間検査数が50件未満の施設が全体の62.2%（122施設）を占めた。陽性例の経験率は年間検査数500件以上の施設では100%であったのに対し、年間検査数が50件未満の施設では7.4%と低かった。一方、特設14施設においては、検査数は年間検査数1000件以上の施設で行われたものが75%以上を占め、陽性例は年間検査数50件未満の施設では0件であった。

⑤HIV検査結果の受け取り状況と誤通知

検査結果を伝えることができた受検者数は、保健所では陽性59/63件（93.7%）、陰性18,147/18,870件（96.2%）であった。

一方、特設においては、検査結果を伝えることができた受検者数は、陽性116/125件（92.8%）、陰性15,852/16,412件（96.6%）であった。結果の誤通知があったと答えた保健所は0か所、特設は1か所（HIV以外の性感染症の結果の誤通知）であった。

⑥陽性者の発生届および医療機関受診の把握

陽性者のうち、その施設で発生届出を行った割合は、保健所で47.6%、特設で65.6%と特設で高かった。発生届を提出する際にCD4数の記載はしていない施設が半数以上であった。医療機関への紹介状を発行した陽性者の割合は、保健所で87.3%、特設で76.8%であった。医療機関を受診したかどうか把握できる仕組みがあると回答した保健所は57.2%（119/208）、特設は78.6%（11/14）であり、把握の方法は紹介状の返信や医療機関からの報告がほとんどであった。医療機関を受診したかどうか把握でき

ている陽性者の割合は保健所で76.3%（59名中45名）、施設で71.6%（116名中83名）であった。

検査・相談に来所する際に他所のスクリーニング検査結果や郵送検査の結果を持参した来所者がいたと答えた保健所は2施設（0.9%）、特設は2施設（14.3%）であった。

⑦HIV検査結果に関する証明書の発行

保健所において、証明書を発行している施設は33.2%（69/208）であり、そのうち53.6%（37/69）が有料で証明書を発行していた。発行にかかる料金は1,000円～2,000円未満が最も多かった（30%）。記名のある証明書を発行している施設は69.6%（48/69）であった。アンケートに回答が得られた特設では、証明書を発行している施設は1か所もなかった。

⑧受検者について把握している内容

保健所において、性別については98.1%、受検動機については85.6%、感染機会の時期については81.3%の施設で把握されていた。受検経験、感染リスク、年齢について把握している施設はそれぞれ66.8%、64.9%、71.6%であった。58.7%の保健所で検査についての情報源を把握していた。居住地域や性的指向については約40%程度の保健所で把握されていた。特設において性別と受検経験は100%、感染リスクは85.7%で把握されており、性的指向、感染機会の時期、情報源は80%以上で把握されていた。受検者の情報を把握するための質問票は保健所の88.0%、特設では92.9%で利用されていた。

⑨結果説明について

保健所において、スクリーニング検査陽性の場合75.9%、確認検査陽性の場合95.4%で医師が検査結果説明担当者となっていた。陰性の場合には保健師が結果説明を行うという回答が多かった。特設においては、陰性例でも90%以上で医師が検査結果説明担当者（複数回答のため保健師、看護師が同席している場合もあり得る）となっていた。

スクリーニング検査で陰性時に検査結果の説明は口頭のみで行うと回答した保健所は 208 施設中 111 施設 (53.4%)、特設では 14 施設中 5 施設 (35.7%) であった。陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣の経験ありと回答した保健所等施設は 208 施設中 34 件

(16.3%)、実績はないが可能と回答したのは 47 件 (22.6%) であった。特設においては、14 施設中 7 件 (50.0%) で派遣経験あり、2 件 (14.3%) で実績はないが派遣可能と言う回答であった。

⑩血液曝露事故が受検動機の受検者について

血液曝露事故が受検動機の受検者がいたと回答した施設は、保健所等で 37 件 (17.8%)、特設検査相談施設で 3 件 (21.4%) であった。そのうちわけは、保健所、特設検査相談施設ともに医療職が最も多く、保健所では福祉職、警察官、医学生の受検者も見られた。保健所では血液曝露事故が受検動機であった者の 16% が職業不明であった。

⑪中学生、高校生の検査希望者への対応

保健所では 59.6%、特設では 71.4% の施設が中学生、高校生の検査希望者に通常通りの対応を行うと回答した。保護者同伴の条件付きで受け入れる、陽性時のみ保護者同伴で説明・相談、告知のみ保護者同伴、必要に応じて保護者同伴を依頼、など施設によって受け入れや対応が異なっていた。

⑫日本語のわからない外国籍の人の受検

日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがあると回答した施設の割合は保健所等で 40.9% (85/208)、特設 57.1% (8/14) であった。

対応言語は英語が最も多く、保健所では次に中国語が続いた。施設は英語に続きスペイン語とタイ語の対応が多かった。他は、ポルトガル、ネパール語、タガログ語、ベトナム語、韓国語、ロシア語に対応可能との回答もあった。対応方法として、保健所では「通訳システム、

アプリ」が最も多く使用されていた (44.7%、38/85)。特設では、外国語の問診票活用、外国語を話せるスタッフが対応、アプリの活用が同数であった。

⑬やむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験

2021 年 1-12 月の間に、やむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験の有無および断った理由 (複数回答あり) を尋ねた。保健所では 56.3% (117/208) が「ある」と回答し、理由としては「定員数の超過」が 62.4%

(73/117)、「COVID-19 の影響のため」が 43.6% (51/117) であった。「繰り返し受検のため」を理由として挙げた保健所が 3 施設

(2.6%) あった。施設では、64.3% (9/14) が「ある」と回答し、理由として最も多かったのは「定員数を超過した」(100.0%)、次いで

「COVID-19 の影響で」「受付時間に大幅に遅れた」であった。保健所では「発熱症状があった」ことを理由に受け入れを断っていた例が 1 件あった。

⑭ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の利用について

保健所でホームページ「HIV 検査・相談マップ」を閲覧したことがあると回答した施設の割合は 87.0% (181/208) であり、うち 66.3% が役に立つと回答した。特設においては、92.9% (13/14) の施設がホームページ「HIV 検査・相談マップ」を閲覧したことがあり、うちすべての施設が役に立つと回答していた。COVID-19 により HIV 検査の日程変更・中止があった際に「HIV 検査・相談マップ」に修正依頼を送ったと回答した保健所は 19.7% (41/208)、特設は 57.1% (8/14) であった。

⑮課題と工夫

自由記載で HIV 検査相談の課題および施設での工夫について尋ねた。課題として、匿名のため連絡なしでのキャンセルが生じること、プライバシーの保護、日本語を話せない外国籍者

への対応などが挙げられた。PrEPに関する相談に対して PrEP の正しい情報をまとめて見られる資料の必要性の指摘もあった。工夫している点として、SNS での情報発信、受検者同士が顔を合わせないような動線の設定、NPO 法人等との協働、対応する職員の知識やスキルを標準化するためのマニュアル作成などさまざまな方法が挙げられた。

2) 「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」調査—COVID-19 が HIV 検査・相談体制に与えた影響について—

① COVID-19 流行による検査・相談の実施体制の変化

アンケートを回収できた保健所の 64.9% (135/208) が「COVID-19 流行による検査・相談の実施体制の変化があった」と回答した。変化の内容（複数回答可）として最も多かったのは「一時（検査・相談を）休止したが再開」で 45.9% (62/135) であった。続いて「回数を減らして実施」が 33.3% (45/135)、「受け入れ人数を減らして実施」が 29.6% (40/135) であった。実施体制変更の理由としては「人員の不足」が約 7 割を占め、次に多かったのは「密を避けることが難しい」(19.3%) であった。

特設では 86.7% (12/14) の施設が「変化があった」と回答し、その内訳としては「一時休止したが再開」(58.3%, 7/12) が最も多かった。実施体制変更の理由で最も多かったのは「密を避けることが難しい」(58.3%, 7/12) であった。

② HIV 検査・相談受検者の属性の変化

「COVID-19 流行以前と比較して、HIV 検査受検者の属性が変化したと感じる」と回答した保健所は 208 施設中 11 施設 (5.6%)、特設では 14 施設中 4 施設 (28.6%) と異なる結果であった。変化の内容として、保健所では「管轄外の地域からの受検者の増加」が多く、特設では「MSM の割合が増加した」が挙げられた。

③ 来年の HIV 検査・相談の実施予定

来年の HIV 検査・相談の実施予定を尋ねたところ、保健所では「従来通りに実施する」が最も多く (58.2%, 121/208)、「流行の状況により検討」(14.4%)、「受け入れ人数を減らして実施予定」(9.1%)「未定」(8.7%)、が続いた。特設では、「従来通りに実施する」が 71.4%

(10/14)、「完全予約制で実施」(35.7%)「受け入れ人数を減らして実施予定」(28.6%)、が次に多かった。

④ COVID-19 流行下における HIV 検査・相談の課題と工夫

2020 年から続く COVID-19 流行下での経験を元に、さまざまな工夫が寄せられた。工夫の内容は感染対策が最も多く、密を避けられるような人数設定や場所の確保、来所前と当日の体調確認や検温、換気などが挙げられた。検査普及週間やエイズデーなどのイベント時期には他施設と合同で夜間検査を実施したという回答もあった。一方、課題としては、検査機会の確保の難しさ、(感染対策上) 対面でのカウンセリングや相談に時間がかけられない、受検者にとってもスタッフにとっても安全に検査・相談が実施できるような体制構築（委託先とのすり合わせ）などが挙げられた。社会や医療が混乱している時期だからこそ、HIV 検査・相談で医療や支援につなげる活動が重要であるという指摘もあった。

3) 「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

① 梅毒検査実施率

アンケートを回収できた保健所 212 施設のうち 189 施設 (90.9%) が梅毒検査を実施していると回答した。特設においては、回収できた 14 施設中 7 施設 (50.0%) が梅毒検査を実施していた。

② 梅毒検査の実施形態

保健所においては、117 施設 (61.9%) が梅

毒検査単独でも受けられると回答した。特設ではすべての施設が HIV 検査と一緒に場合のみ梅毒検査を受けられると回答した。梅毒検査を実施しているすべての特設において梅毒検査は無料だったが、保健所等においては 11.6%

(22/189) で梅毒検査は有料であり、受検者が負担する金額は 500～1000 円が 72.7%、500 円未満が 18.2%、1000～2000 円が 4.5%であった。保健所等では通常検査のみでの梅毒検査が 64.0% (121 施設) であった。HIV 通常検査の場で梅毒検査を実施した場合の梅毒検査結果の返却時期は 1 週間後が最も多く (59.5%)、HIV 即日検査の場で梅毒検査を実施した場合には 6 日以内と 2 週間後の結果返却が同数であった。特設では通常検査のみでの実施が 42.9%、即日検査での実施が 57.1%であり、通常検査の場で梅毒検査をした場合どの施設も 1 週間後の結果返却と回答した。

③梅毒検査の方法

梅毒検査を即日検査で実施している保健所では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設が最も多く (36/68 施設、52.9%)、次いで TP 抗体検査のみ実施が 12 施設 (17.6%) であった。STS 法のみ実施、STS 法で陽性だった場合 TP 抗体検査を追加実施、という保健所もあった。通常検査を実施している保健所では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設の割合が 74.3% (97/131) であった。特設では、梅毒検査を通常検査で実施している施設では STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設が 3 施設中 2 施設、TP 抗体陽性だった場合に STS 法と TP 抗体法の両方を追加で実施すると回答した施設も 1 施設あった。梅毒検査を即日検査で実施している特設では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設と TP 抗体検査のみを実施している施設が半々であった。

④梅毒検査陽性者数

2021 年 1 月～12 月の梅毒検査陽性者数、陽

性者数を尋ねた。梅毒検査を実施している保健所 182 施設のうち、検査数と陽性者数を回答した施設は 175 施設であった。全体の梅毒検査数 15,902 件のうち、梅毒陽性は 599 件 (3.8%) であった。特設においては、全体の梅毒検査数 14,347 件のうち、梅毒陽性は 521 件 (3.6%) であった。陽性率は保健所の方が高い結果となった。

⑤陽性者への対応

梅毒陽性となった受検者への対応としては、保健所等施設、特設検査相談施設どちらも受診勧奨が 70%以上と最も多く、次にパートナーの受検勧奨、医療機関の紹介が多かった。梅毒検査結果の証明書の発行をしていると回答した施設は、保健所で 24.9% (47/189) であり、うち 61.7%が有料であった。証明書発行にかかる料金は、500 円～1000 円未満と 1000 円～2000 円未満が多かった。証明書は記名式であると答えた施設が 59.6%を占めた。特設においては、梅毒検査結果の証明書を発行している施設はなかった。

⑥課題

自由記載で梅毒検査の課題を尋ねた。課題として、陽性の受検者およびパートナーの受診確認ができないこと、既往歴がある受検者への対応、TP 抗体検査のみだと治療歴を見ている可能性が否定できないこと、医療機関で治療中の受検者がいることなどが挙げられた。検査結果の解釈に関するわかりやすい資料の希望、梅毒が再感染する感染症であることの周知の必要性の指摘もあった。

D.考察とまとめ

昨年度に引き続き、今年度も COVID-19 流行下での保健所 (保健所およびその支所等)、特設検査相談施設アンケート調査実施となった。アンケート調査では COVID-19 が保健所、特設における HIV 検査・相談に及ぼした影響を評価するため、昨年と同様、COVID-19 による検

査・相談体制の変化、受検者特性の変化、COVID-19 流行下で検査・相談を実施する際の課題に関する質問項目を設けて情報を収集した。今年度は検査・相談に際して工夫していることについても設問を設けた。

アンケート調査の回収率は、COVID-19 流行の第 6 波の最中に実施されたこともあり、特に保健所で昨年よりもさらに低いものとなった。保健所は 523 施設中 212 施設（回収率 40.5%、昨年度 57.4%）、特設は 17 施設中 14 施設（回収率 82.4%、昨年 78.9%）から回答を得た。

HIV 検査・相談を実施した保健所 196 施設で 2021 年の 1 年間に行った HIV 検査の総数は 18,933 件、陽性は 63 件（0.33%）であった。陽性者のあった保健所は 36 施設（18.4%）であった。四半期で検査件数に大きな差は認められなかった。一方、回答のあった 14 の特設検査相談施設で 2021 年に行った HIV 検査の総数は 16,537 件で、陽性者のあった特設は 12 施設（85.7%）、陽性は 125 件（0.76%）であった。アンケートの回収率が高くないことから、検査件数や陽性率を昨年、一昨年までと比較することは困難である。しかし、エイズ動向委員会から報告されている HIV 感染者、保健所検査受検者数も前年までと比較して減少していることは明らかであり、本アンケートでもその結果が反映されていると言えるだろう。特設の検査件数に保健所ほど大きな減少を認めなかったことは、検査・相談が COVID-19 の影響で休止している保健所の受検者を受け入れていた可能性が示唆される。アンケートを回収できた保健所・検査所のデータに限られるが、例年よりも高い陽性率を見ると、陽性者、ハイリスク者は一定程度検査・相談にアクセスできていた（陰性者、低リスク者の検査アクセスが減った）可能性も示唆される。

ブロック別の集計は、今年度のアンケートの回収率に大きな地域差があったことから解釈に

注意が必要であり、今回に限り陽性率の算出にはあまり意味がないと考えられる。ブロック別の回収率は、関東甲信越ブロックで最も低く、東北、北海道、近畿ブロックで高かった。HIV 検査件数（7,787 件）、陽性件数（30 件）とも近畿ブロックで最も多かった。近畿ブロックの施設では比較的検査の休止や制限が少なかった可能性がある。

他所でのスクリーニング検査や郵送検査の結果を元に保健所・特設へ来所した受検者の増加は見られなかったが、今後増えていく可能性は高いと考える。検査結果の受け取りを含め、受検者にアクセスしやすい検査の選択肢が広がることが重要である。

受検者の特性について質問票で把握している内容は施設による違いはあるものの、年齢や受検動機など共通している項目も多かった。事前または当日に発熱や COVID-19 が疑われる症状の有無の確認をしていると回答した施設もあり、COVID-19 流行下では質問項目が増えている可能性がある。

保健所において、日本語を話さない外国籍者への対応については、書面による対応を通訳システム・翻訳アプリが上回っていた。COVID-19 流行下で遠隔での通訳利用、支援が導入される場面も増えており、HIV 検査・相談においても遠隔通訳支援のニーズが増える可能性がある。翻訳アプリは医療の場面に限らず今後も自治体での活用が増えていくと考えられ、経験の蓄積と共有が重要であろう。「やむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験」については、保健所では 56.3%（117/208）が「ある」と回答し、理由としては「定員数の超過」が 62.4%（73/117）、「COVID-19 の影響のため」が 43.6%（51/117）であった。施設では、64.3%（9/14）が「ある」と回答し、理由として最も多かったのは「定員数を超過した」（100.0%）、次いで「COVID-19 の影響で」「受付時間に大幅に遅れた」であった。

COVID-19 下で感染対策のため受け入れ人数を減らして検査・相談を実施していた施設が多く、昨年と同様に検査・相談の実施に大きく影響を与えたことが明らかになった。「繰り返しの受検」で検査・相談を断った例もあった。定期的に検査が必要なハイリスク層の検査機会を奪ってしまうことが無いよう、引き続き周知をより広く行っていきたい。

保健所・検査所での HIV 検査・相談の課題として、匿名のため連絡なしでのキャンセルが生じること、プライバシーの保護、日本語を話せない外国籍者への対応などが挙げられた。予約制で検査・相談を実施する施設が増えていたことも、連絡なしでのキャンセルの影響が大きくなった原因の一つと考えられる。地域は限られているが、受検者から PrEP に関する相談を受ける施設もあり、PrEP の情報をまとめて見られる資料の配備やスタッフが知識をアップデートできる機会が必要である。各施設で工夫している点として、SNS での情報発信、受検者同士が顔を合わせないような動線の設定、NPO 法人等との協働、対応する職員の知識やスキルを標準化するためのマニュアル作成などさまざまな方法が挙げられた。

COVID-19 流行による検査・相談の実施体制の変化について、保健所の 64.9% (135/208) が「変化があった」と回答した。変化の内容（複数回答可）として最も多かったのは「一時（検査・相談を）休止したが再開」で 45.9% (62/135) であった。「回数を減らして実施」、「受け入れ人数を減らして実施」が続き、理由としては「人員の不足」が約 7 割を占め、次に多かったのは「密を避けることが難しい」(19.3%) であった。

特設では 86.7% (12/14) の施設が「変化があった」と回答し、その内訳としては「一時休止したが再開」(58.3%, 7/12) が最も多かった。理由で最も多かったのは「密を避けることが難しい」(58.3%, 7/12) であった。COVID-19

流行拡大による保健所業務が逼迫する中で一時休止を経験し、工夫をしながら再開した施設が多いことが明らかになった。

COVID-19 流行下での検査・相談体制に関する課題としては、COVID-19 対策業務増加による人員や感染対策物品、密の回避に十分なスペースの不足など資源の不足に関するものが多かった。匿名検査であるが故の課題（COVID-19 感染や濃厚接触が疑われた場合の追跡ができない）も明らかになった。検査機会の減少に関する懸念が挙げられており、減少した検査・相談の機会を補う選択肢（郵送検査など）が拡がり、従来の来所型の保健所検査と連携できるような体制構築が喫緊の課題である。

2021 年 1 月～12 月の梅毒検査陽性率は、保健所で 3.8%、特設で 3.6%であり、回収率の影響を加味してもまだ流行が収束していないことを示している。梅毒検査の課題として、昨年までも挙げられていた。陽性の受検者の受診確認ができないこと、既往歴がある受検者への対応等が挙げられた。国立感染症研究所のデータで報告数の推移を見ても、梅毒の報告数は一向に減少に転じていない。症状に気づきにくい感染症であることから、保健所 HIV 検査・相談の場における梅毒検査の役割は非常に大きいと言える。

保健所からの回収率が 40%と低かったことから、今年度の調査結果の解釈には注意が必要である。代表性の点では限界があるものの、COVID-19 流行による保健所検査・相談の休止、検査機会の減少は明らかである。一方、全国の保健所・検査所で検査機会を維持しようとさまざまな工夫をしながら検査・相談を実施されてきたことは、今後も起きうる公衆衛生学的有事の際への学びとなることが非常に多い。2022 年 2 月現在、COVID-19 の第 6 波は未だ収束していない。引き続き、検査・相談の実施状況やその変化を注視しながら、必要な人、希望する人が検査・相談の機会を失うことのない

よう、地域での検査・相談が継続できる体制構築の検討を進めていきたい。

E.健康危険情報

該当なし

F.研究発表

1.論文発表

なし

2.学会発表

- 1) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞柁健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査.第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月（口演）
- 2) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、

貞柁健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査.第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月（口演）

- 3) 土屋菜歩：COVID-19 が保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に与えた影響.第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月（シンポジウム）

G.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

謝辞

COVID-19 対応で多忙を極める中、アンケート調査にご協力いただいた全国の保健所・検査所等関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和4年1月4日

各 保 健 所 長 様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
研究代表者 今村 顕史 (東京都立駒込病院)
研究分担者 土屋 菜歩 (東北大学)

HIV 検査と梅毒検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
昨年度実施しました、「保健所における HIV 検査および梅毒検査体制に関する全国調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査結果につきましては、全国保健所長会のサイトに掲載させて頂きましたのでご一読頂ければ幸いです。

年度末で大変お忙しいところ恐縮ではありますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。
別紙のアンケート用紙にご回答頂けましたら、令和4年1月21日(金)までに、返信用封筒にてご返信下さいますようお願い致します。一つの保健所で複数の HIV 検査相談施設(保健所支所、保健センター等)を管轄している場合には大変申し訳ありませんが、アンケート用紙をコピーの上、各施設単位でアンケートのご回答をしていただけますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 保健所における HIV 検査と梅毒検査 (HIV 検査と同時に行う他の性感染症検査を含む) 検査・相談体制に関する現状を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 令和4年1月21日(金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒185-0014 東京都国分寺東恋ヶ窪 3-19-13 セイバー株式会社
(用紙以外でのご回答・ご返送をご希望の場合には、下記問い合わせ先までご連絡下さい)

*検査・相談業務にお役立ていただける情報を以下に掲載しております。ぜひご活用下さい。

- 保健所における HIV 即日検査のガイドライン第4版
<https://www.hivkensa.com/tantousha/>
- 梅毒検査結果説明用資料
<https://www.hivkensa.com/tantousha/>

(本調査に関する問い合わせ先)
下記メールにより土屋菜歩宛にお願い致します。
Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

令和4年1月4日

関係者の皆様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV検査体制の改善と効果的な受験勸奨のための研究
研究代表者 今村 顕史 (東京都立駒込病院)
研究分担者 土屋 菜歩 (東北大学)

HIV検査と梅毒検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
昨年ご協力をいただきました「保健所における HIV 検査および梅毒検査体制に関する全国調査」を、今年度も引き続き実施することとなりました。
つきましては、保健所以外の自治体特設の HIV 検査相談施設に関しましても、保健所アンケートに準じた調査を本年度も実施させていただきたく、大変お忙しいところ恐縮ではありますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。
別紙のアンケート用紙にご回答頂けましたら、令和4年1月21日(金)までに、返信用封筒にてご返信下さいますようお願い致します。

記

- 1 調査目的 自治体特設 HIV 検査相談施設における HIV 検査と梅毒検査 (HIV 検査と同時に他の性感染症検査を含む) 体制および結果通知に関する現状を調査する。
- 2 調査票回答者 自治体特設 HIV 検査相談施設の責任者 あるいは委託元 HIV 検査相談事業の責任者または担当者
- 3 調査票回答期限 令和4年1月21日(金)

4 調査票回答方法

返信用封筒による郵送

宛先 〒185-0014 東京都国分寺東恋ヶ窪 3-19-13 セイバー株式会社

*検査・相談業務にお役立ていただける情報を以下に掲載しております。ぜひご活用下さい。

- 保健所における HIV 即日検査のガイドライン第4版

<https://www.hivkensa.com/tantousha/>

- 梅毒検査結果説明用資料

<https://www.hivkensa.com/tantousha/>

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより土屋菜歩宛にお願い致します。

Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

保健所における HIV 検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の施設が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

保健所名:

連絡担当者名: 職種: 医師・保健師・事務・その他()

連絡先: TEL FAX E-mail

下記の質問について、選択項目については該当するものを○で囲み、その他の場合はご記載下さい。

- 貴保健所では HIV 検査・相談を行っていますか? ()はい ()いいえ
→「いいえ」と回答された保健所はここで質問終了です。ご協力ありがとうございました。
- HIV 検査実績について(2021 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。)
① HIV 検査開催回数(採血を実施した日数でカウントしてください)と検査件数:

開催期間	開催回数	検査件数	うち、確認検査実施数	確認検査陽性数
1~3 月	回	件	件	件
4~6 月	回	件	件	件
7~9 月	回	件	件	件
10~12 月	回	件	件	件

 ② 年間で HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: 件 うち、陽性者: 件
 ③ 年間の陽性者のうち、貴保健所で発生届出を行った数: 件
 ④ 年間の陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数: 件
 ⑤ 年間の陽性者のうち、医療機関を受診したことを把握できている数: 件
- COVID-19 が HIV 検査・相談体制に与えた影響について
① 貴保健所では、COVID-19 流行前と比べて検査・相談の実施体制は変化しましたか?
 ()変化なし
 ()変化あり:
 休止中(年 月~) ・ 一時休止したが再開(休止期間: 年 月~ 年 月)
 回数を減らして実施 ・ 受入人数を減らして実施 ・ 予約制に変更して実施
 外部に委託して実施 ・ 非常勤職員を増員して実施 ・ その他()
 →「変化あり」の理由を教えてください。
 (人員の不足 ・ 会場確保困難 ・ 3密を避けることが難しい ・ 感染対策が難しい
 その他())
- COVID-19 流行前と比べて、HIV 検査受検者の属性(セクシュアリティ、年齢、リピーターなど)は変化したと感じますか?
 (変わらない ・ 変わった(具体的に:))
- 来年の HIV 検査・相談の実施予定について教えてください。
 (従来通り実施 ・ 回数を減らして実施 ・ 受け入れ人数を減らして実施
 外部に委託して実施 ・ その他())
- HIV 検査・相談事業について
① HIV 検査の際に性感染症検査を一緒に行っていますか?
 ()行っていない
 ()行っている → 毎回 ・ 毎回ではないが定期的 ・ イベント時のみ(年 回)
 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をつけてください。
 (梅毒・クラミジア(抗原または抗体)・淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他())

- ② 2021年1月以降、HIV/性感染症検査結果に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
 なかった
 あった → 何の結果ですか(HIV ・ 性感染症)
- ③ HIV検査陰性の証明書を発行していますか？
 発行していない
 発行している → 有料ですか はい(円) ・ いいえ
 → 記名式ですか はい ・ いいえ
- ④ HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？
 ない
 ある → 把握方法を具体的に教えてください:

5. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

- ① 受検者について把握している内容に○を付けて下さい(複数回答可)。
 性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 国籍 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 受検経験 ・ 感染リスク ・ 性的指向 ・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他()
- ② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？
 用いていない ・ 検査前に用いている ・ 検査後に用いている)
- ③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？
 わからない、または把握していない ・ いない ・ いる → 受検者数(医療職: 名
 ・ 福祉職: 名 ・ 美容職: 名 ・ 清掃業: 名 ・ その他(): 名)
- ④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
 通常通り行う ・ 受け付けない ・ 検査、告知とも保護者同伴の条件で受け付ける
 ・ 告知のみ保護者同伴の条件で受け付ける ・ その他 → (具体的に:)
- ⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？
 ない ・ ある : 対応言語と方法を具体的に()
- ⑥ 他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？
 いなかった ・ いた)
- ⑦ 受検者が採血に起因する体調不良等で医療機関受診が必要となった事例がありますか？
 なかった ・ あった : 対応を具体的に()

6. HIV検査の実施状況について教えてください(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。「②曜日と時間」で検査を複数回実施されている場合には余白にご記入ください。

() 通常検査を行っている

- ① 実施方法 (定期的 ・ イベント時)
- ② 曜日と時間 _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: 午前 ・ 午後 ・ 夜間
- ③ 予約の要否 (必要 ・ 必要なし)
- ④ 結果返却のタイミング (6日以内 ・ 1週間後 ・ 2週間後 ・ 日後以降)
- ⑤ スクリーニング検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設())
- ⑥ スクリーニング検査で HIV 陽性だった場合の確認検査の方法
 WB法のみ ・ 2次スクリーニング検査+WB法 ・ WB法+核酸増幅検査(NAT)法
 2次スクリーニング検査+WB法+NAT法 ・ その他()
- ⑦ 確認検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設())

() 即日検査を行っている

(スクリーニング検査で陰性であった場合、検査を受けたその日のうちにお知らせする検査を指します)

- ① 実施方法 (定期的 ・ イベント時)
- ② 曜日と時間 _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: 午前 ・ 午後 ・ 夜間
- ③ 予約の要否 (必要 ・ 必要なし)

- ④ 確認検査の結果返却のタイミング (6日以内 ・ 1週間後 ・ 2週間後 ・ 日後以降)
- ⑤ スクリーニング検査の方法:(イムノクロマト法 (ダイナスクリーン ・ エスプライン) ・ その他() ・ 不明)
- ⑥ スクリーニング検査の実施職員 (自施設職員 ・ 他施設職員 ・ その他())
- ⑦ スクリーニング検査で HIV 陽性だった場合の確認検査の方法
(WB 法のみ ・ 2次スクリーニング検査+WB 法 ・ WB 法+核酸増幅検査(NAT)法
2次スクリーニング検査+WB 法+NAT 法 ・ その他())
- ⑧ 確認検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設 ())
- ⑨ 確認検査用の検体
(迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に採血 → (迅速検査用と同時 ・ 結果通知後))

7. 結果説明・相談体制について

(1) スクリーニング検査陰性者への対応

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他())

(2) 陽性者への対応

スクリーニング検査で陽性の場合

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他)

スクリーニング検査後、確認検査で陰性(偽陽性)となった場合

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他)

スクリーニング検査後の確認検査で陽性(真の陽性)となった場合

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他())
- ⑤ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？
(経験あり ・ 実績はないが可能 ・ できない ・ 検討中 ・ その他())
- ⑥ 確認検査で陽性の場合、貴保健所で発生届を提出していますか？
(行う ・ 行わない ・ 必要に応じて ・ 紹介先医療機関に依頼する)
→「行う」としている場合、CD4 値は記入していますか？
(記入していない ・ 記入せず提出し、後日判明したら報告する ・ 医療機関に問い合わせ
て記入する)
→「行わない」「必要に応じて」としている場合、その理由を記載ください：
()

8. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？

() はい

→ 理由: (受け入れ可能な定員数を超過したため ・ 居住地が管外であるため ・
くり返し受検のため ・ 外国人対応が困難なため ・ 学生(小・中・高校生)のため ・

自治体特設 HIV 検査施設における HIV 検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の施設が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

検査施設名:

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

下記の質問について、選択項目については該当するものを○で囲み、その他の場合はご記載ください。

1. HIV 検査実績について(2021 年 1～12 月の実施状況をお教え下さい。)

① HIV 検査開催回数(採血を実施した日数でカウントしてください)と検査件数:

1～3 月:開催数 _____ 回、検査件数 _____ 件 うち、確認検査実施数 _____ 件 確認検査陽性数 _____ 件

4～6 月:開催数 _____ 回、検査件数 _____ 件 うち、確認検査実施数 _____ 件 確認検査陽性数 _____ 件

7～9 月:開催数 _____ 回、検査件数 _____ 件 うち、確認検査実施数 _____ 件 確認検査陽性数 _____ 件

10～12 月:開催数 _____ 回、検査件数 _____ 件 うち、確認検査実施数 _____ 件 確認検査陽性数 _____ 件

② 年間で HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: _____ 件 うち、陽性者: _____ 件

③ 年間の陽性者のうち、施設で発生届出を行った数: _____ 件

④ 年間の陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数: _____ 件

⑤ 年間の陽性者のうち、医療機関を受診したことを把握できている数: _____ 件

2. COVID-19 が HIV 検査・相談体制に与えた影響について

① 貴施設では、COVID-19 流行により検査・相談の実施体制は変化しましたか？

()変化なし

()変化あり:

休止中(_____ 年 _____ 月～) ・ 一時休止したが再開(休止期間: _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月)

回数を減らして実施 ・ 受入人数を減らして実施 ・ 予約制に変更して実施

外部に委託して実施 ・ 非常勤職員を増員して実施 ・ その他(_____)

→ 「変化あり」の理由を教えてください。

(人員の不足 ・ 会場確保困難 ・ 3密を避けることが難しい ・ 感染対策が難しい

その他(_____))

② COVID-19 流行前と比べて、HIV 検査受検者の属性(セクシュアリティ、年齢、リピーターなど)は変化したと感じますか？

(変わらない ・ 変わった(具体的に: _____))

③ 来年の HIV 検査・相談の実施予定について教えてください。

(従来通りに実施 ・ 回数を減らして実施 ・ 受け入れ人数を減らして実施 ・

その他(_____))

3. HIV 検査・相談事業について

① HIV 検査の際に性感染症検査を一緒に行っていますか？

()行っていない

()行っている → 毎回 ・ 毎回ではないが定期的 ・ イベント時のみ(_____ 年 _____ 回)

→ 一緒に実施している性感染症検査項目に○をつけてください。

(梅毒 ・ クラミジア(抗原または抗体) ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他(_____))

② 2021 年 1 月以降、HIV/性感染症検査結果に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

()なかった

()あった → 何の結果ですか(HIV ・ 性感染症)

- ③ HIV 検査陰性の証明書を発行していますか？
 ()発行していない
 ()発行している →有料ですか ()はい(円) ・ ()いいえ
 →記名式ですか ()はい ・ ()いいえ
- ④ HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？
 () ない
 () ある→ 把握方法を具体的に教えてください:

4. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

- ① 受検者について把握している内容に○を付けて下さい (複数回答可)。
 (性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 受検経験 ・ 感染リスク
 ・ 性的指向 ・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他())
- ② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？
 (用いていない ・ 検査前に用いている ・ 検査後に用いている)
- ③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？
 (わからない、または把握していない ・ いない ・ いる → 受検者数(医療職: 名 ・
 福祉職: 名 ・ 美容職: 名 ・ 清掃業: 名 ・ その他(): 名)
- ④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
 (通常通り行う ・ 受け付けない ・ 検査、告知とも保護者同伴の条件で受け付ける
 ・ 告知のみ保護者同伴の条件で受け付ける ・ その他→(具体的に:))
- ⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？
 (ない ・ ある :対応言語と方法を具体的に())
- ⑥ 他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？
 (いなかった ・ いた)
- ⑦ 受検者が採血に起因する体調不良等で医療機関受診が必要となった事例がありますか？
 (なかった ・ あった :対応を具体的に())

5. HIV 検査事業の状況について教えてください(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。「②曜日と時間」で検査を複数回実施されている場合には余白にご記入ください。

() 通常検査を行っている

- ① 実施方法 (定期的 ・ イベント時)
- ② 曜日と時間____曜日/(月・年)____回 受付時間:午前 ・ 午後 ・ 夜間
- ③ 予約の要否 (必要 ・ 必要なし)
- ④ 結果返却のタイミング (1週間後 ・ 2週間後 ・ 日後以降)
- ⑤ スクリーニング検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設)
- ⑥ スクリーニング検査で HIV 陽性だった場合の確認検査の方法
 (WB 法のみ ・ 2次スクリーニング検査+WB 法 ・ WB 法+核酸増幅検査(NAT)法
 2次スクリーニング検査+WB 法+NAT 法 ・ その他())
- ⑦ 確認検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設())

() 即日検査を行っている

(スクリーニング検査で陰性であった場合、検査を受けたその日のうちにお知らせする検査を指します)

- ① 実施方法 (定期的 ・ イベント時)
- ② 曜日と時間____曜日/(月・年)____回 受付時間:午前 ・ 午後 ・ 夜間
- ③ 予約の要否 (必要 ・ 必要なし)
- ④ 確認検査の結果返却のタイミング (6日以内 ・ 1週間後 ・ 2週間後 ・ 日後以降)
- ⑤ スクリーニング検査の方法:(イムノクロマト法 (ダイナスクリーン ・ エスプライン) ・ その他() ・ 不明)
- ⑥ スクリーニング検査の実施職員 (自施設職員 ・ 他施設職員 ・ その他())

- ⑦ スクリーニング検査で HIV 陽性だった場合の確認検査の方法
 (WB 法のみ ・ 2 次スクリーニング検査+WB 法 ・ WB 法+核酸増幅検査(NAT)法
 2 次スクリーニング検査+WB 法+NAT 法 ・ その他())
- ⑧ 確認検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設 ())
- ⑨ 確認検査用の検体
 (迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に採血 → (迅速検査用と同時 ・ 結果通知後))

6. 結果説明・相談体制について

(1) スクリーニング検査陰性者への対応

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他)

(2) 陽性者への対応

スクリーニング検査で陽性の場合

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他)

スクリーニング検査後、確認検査で陰性(偽陽性)となった場合

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他)

スクリーニング検査後の確認検査で陽性(真の陽性)となった場合

- ① 説明をしている者の職種(医師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ 検査技師 ・ その他())
- ② 説明資料の有無(ある ・ ない)
- ③ 配布資料の有無(ある ・ ない)
- ④ 説明方法(口頭のみ ・ 結果の書面を渡す ・ その他())
- ⑤ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？
 (経験あり ・ 実績はないが可能 ・ できない ・ 検討中 ・ その他())
- ⑥ 確認検査で陽性の場合、施設で発生届を提出していますか？
 (行う ・ 行わない ・ 必要に応じて ・ 紹介先医療機関に依頼する)
 →「行う」としている場合、CD4 値は記入していますか？
 (記入していない ・ 記入せず提出し、後日判明したら報告する ・ 医療機関に問い合わせ
 て記入する)
 →「行わない」「必要に応じて」としている場合、その理由を記載ください:
 ())

7. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？

- () はい
 → 理由: (受け入れ可能な定員数を超過したため ・ 居住地が管外であるため ・
 くり返し受検のため ・ 外国人対応が困難なため ・ 学生(小・中・高校生)のため ・
 COVID-19 の影響で検査体制が変わったため ・ その他())
- () いいえ

8. その他

- ① ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>)をご覧になったことはありますか？
(はい ・ いいえ)
- ② COVID-19 により HIV 検査日程が変更・中止になった際に、「HIV 検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？
(はい ・ いいえ ・ 変更中止なし)
- ③ 「HIV 検査・相談マップ」は貴施設の HIV 検査相談事業に役立っていると思いますか？
(はい ・ いいえ ・ 不明)
- ④ HIV 検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、以下にご記入下さい。

- ⑤ COVID-19 流行下における HIV 検査・相談で今後の課題等がありましたら、以下にご記入ください。

ご協力ありがとうございました

保健所における梅毒検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は研究班の報告書としてまとめるとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の施設が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

保健所名: _____

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

下記の質問について、ご記載下さい。

選択項目については、該当するものを○で囲み、その他の場合は記載をお願いします。

全保健所にお伺いします。

梅毒検査を実施していますか? → (している・していない・今後実施予定)

実施していない又は今後実施予定の保健所は質問終了です。ご協力ありがとうございました。

現時点で梅毒検査を実施している保健所にお尋ねします。

(1) 検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか。

() 有(有料 _____ 円) ・ () ない(無料)

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか。

() 梅毒検査単独でも受けられる ・ () HIV 検査と一緒にする場合のみ受けられる

③ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

() 通常検査を行っている

→検査方法

() STS 法のみ

() TP 抗体検査のみ

() STS 法と TP 抗体検査を同時実施

() STS 法で陽性の場合、TP 抗体検査を追加実施

() TP 抗体検査で陽性の場合、STS 法を追加実施

() TP 抗体検査で陽性の場合、STS 法・TP 抗体検査を追加実施

() その他:

→結果返却のタイミング (6 日以内 ・ 1 週間後 ・ 2 週間後 ・ _____ 日後以降)

→通常検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設(_____))

() 即日検査を行っている

→検査方法

() STS 法のみ

() TP 抗体検査のみ

() STS 法と TP 抗体検査を同時実施

() STS 法で陽性の場合、TP 抗体検査を追加実施

() TP 抗体検査で陽性の場合、STS 法を追加実施

() TP 抗体検査で陽性の場合、STS 法・TP 抗体検査を追加実施

() その他:

→追加検査を実施した場合の結果返却のタイミング(6 日以内 ・ 1 週間後 ・ 2 週間後 ・ _____ 日後以降)

STS 法: 脂質(カルジオリピン)を抗原とする検査

TP 抗体検査: 梅毒病原体である T.Pallidum を抗原とする検査

→即日検査の実施職員（自施設職員・他施設職員・その他（ ））

(2) 検査実績に関するご質問

① 1年間(2021年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えてください。

(※内訳については、わかる範囲で記載いただければ幸いです)

受検者数 () 件)うち陽性者数 () 件)

STS法検査実施数 () 件)うち陽性数 () 件)

TP抗体検査実施数 () 件)うち陽性数 () 件)

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください

(複数回答可)

(結果告知のみ・受診勧奨・医療機関紹介・紹介状発行・パートナーの検査勧奨・
その他_____)

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか？

()発行していない

()発行している →有料ですか ()はい()円) ・ ()いいえ

→記名式ですか ()はい ・ ()いいえ

④ 梅毒検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

() ない

() ある→ 把握方法を具体的に教えてください:

⑤ 梅毒検査相談を実施する上で、問題点や課題等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました

自治体特設 HIV 検査施設における梅毒検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は研究班の報告書としてまとめるとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の施設が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

検査施設名: _____

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

下記の質問について、選択項目については、該当するものを○で囲み、その他の場合はご記載下さい。

全施設にお伺いします。

梅毒検査を実施していますか? → (している・していない・今後実施予定)

実施していない又は今後実施予定の施設については質問終了です。ご協力ありがとうございました。

現時点で梅毒検査を実施している施設にお尋ねします。

(1) 検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか。

() あり(有料 _____ 円) ・ () ない(無料)

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか。

() 梅毒検査単独でも受けられる ・ () HIV検査と一緒にする場合のみ受けられる

③ 梅毒検査の実施状況について教えてください(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

() 通常検査を行っている

→検査方法

() STS法のみ

() TP抗体検査のみ

() STS法とTP抗体検査を同時実施

() STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施

() TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施

() TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施

() その他:

→結果返却のタイミング (6日以内 ・ 1週間後 ・ 2週間後 ・ _____ 日後以降)

→梅毒検査の実施施設 (自施設 ・ 他施設(_____))

() 即日検査を行っている

→検査方法

() STS法のみ

() TP抗体検査のみ

() STS法とTP抗体検査を同時実施

() STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施

() TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施

() TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施

() その他:

→追加検査を実施した場合の結果返却のタイミング(6日以内 ・ 1週間後 ・ 2週間後 ・ _____ 日後以降)

→即日検査の実施職員 (自施設職員 ・ 他施設職員 ・ その他(_____))

STS法: 脂質(カルジオリピン)を抗原とする検査

TP抗体検査: 梅毒病原体である T.Pallidum を抗原とする検査

(2) 検査実績に関するご質問

① 1年間(2021年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えてください。

(※内訳については、わかる範囲で記載いただければ幸いです)

受検者数 () 件)うち陽性者数 () 件)
STS 法検査実施数 () 件)うち陽性数 () 件)
TP 抗体検査実施数 () 件)うち陽性数 () 件)

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください

(複数回答可)

(結果告知のみ ・ 受診勧奨 ・ 医療機関紹介 ・ 紹介状発行 ・ パートナーの検査勧奨 ・
その他_____)

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか？

()発行していない

()発行している →有料ですか ()はい()円) ・ ()いいえ

→記名式ですか ()はい ・ ()いいえ

④ 梅毒検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

() ない

() ある→ 把握方法を具体的に教えてください:

⑤ 梅毒検査相談を実施する上で、問題点や課題等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました

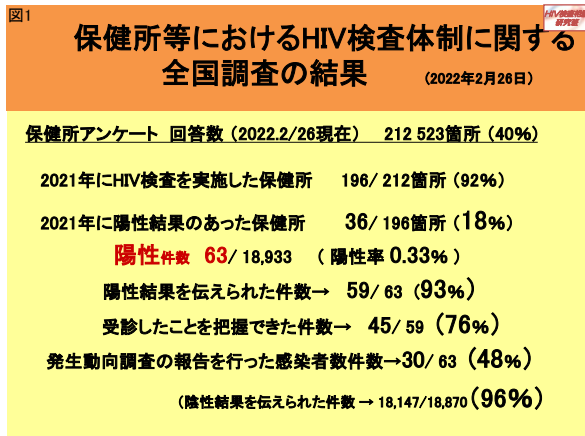


図2 保健所HIV検査 (2021年)
— 四半期ごとの検査数と陽性数 — (n=196)

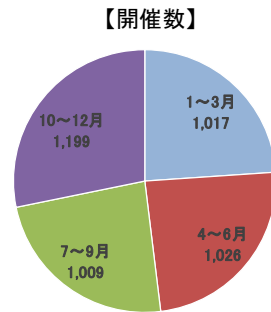


図3 保健所HIV検査 (2021年)
— 四半期ごとの検査数と陽性数 — (n=196)

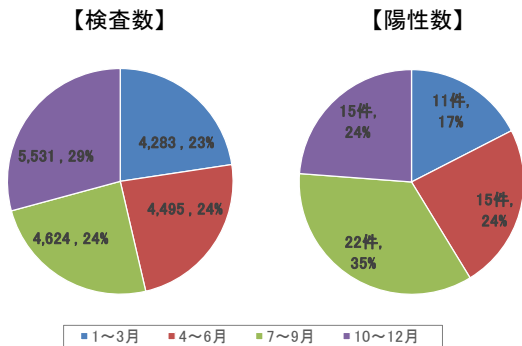


図4 年間検査件数別の保健所数と検査数の割合 (2021年)

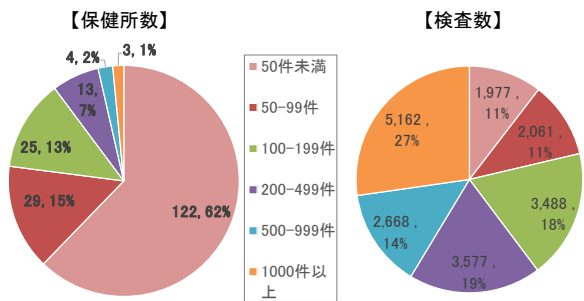


図5 年間検査件数別の保健所数 (2021年) (n=196)

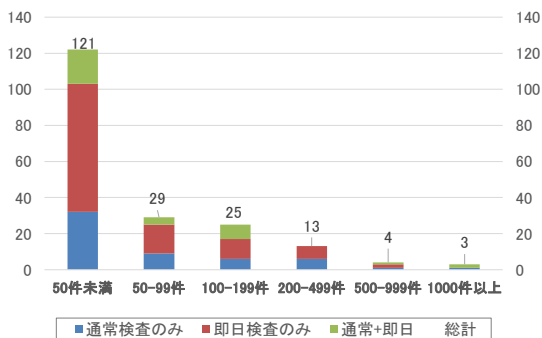


図6 年間検査件数別の陽性率 (2021年)

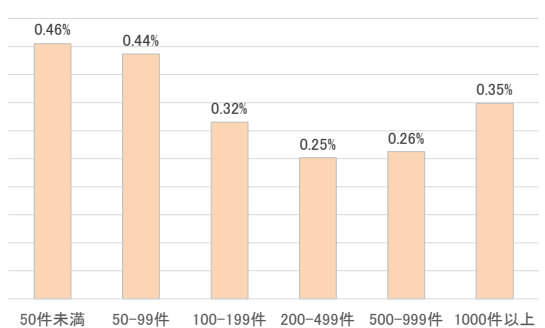


図7 (2021年)

年間検査件数別の陽性経験率

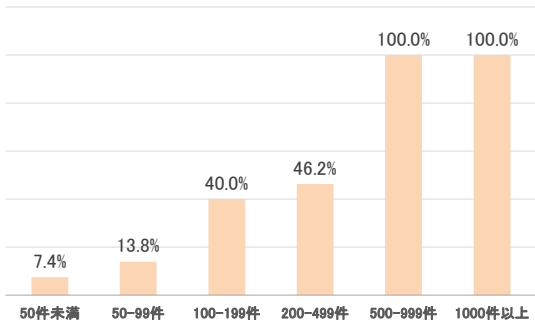


図8 (2021年)

発生届出を行った陽性者数

(n=63)

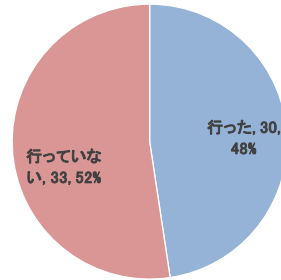


図9 (2021年)

医療機関への紹介状を発行した陽性者数

(n=63)

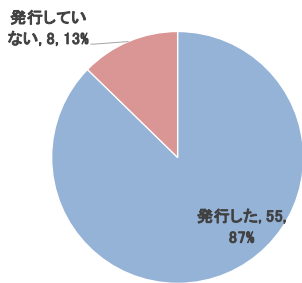


図10 (2021年)

医療機関を受診したことを把握できている陽性者数

(n=59)

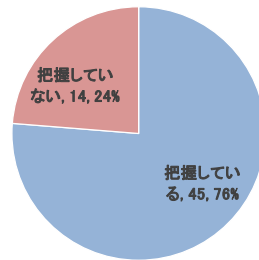


図11 (2021年)

COVID-19が検査体制に与えた影響について一実施体制に変化がありましたか？

(n=208)

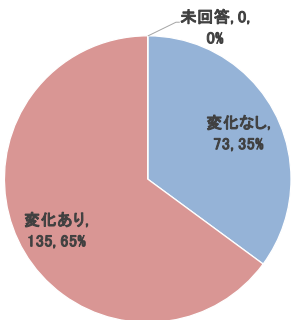


図12 (2021年)

COVID-19が検査体制に与えた影響についてどのように変化しましたか？

(n=135)
複数回答

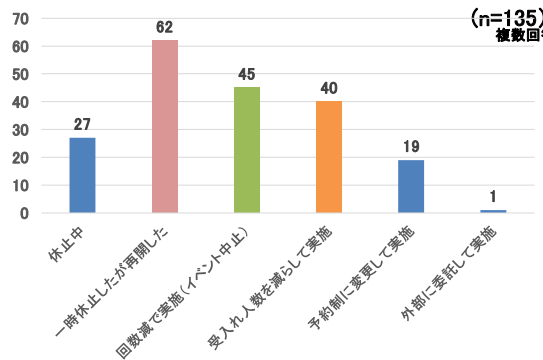


図13 COVID-19が検査体制に与えた影響について一変化の理由を教えてください (2021年)

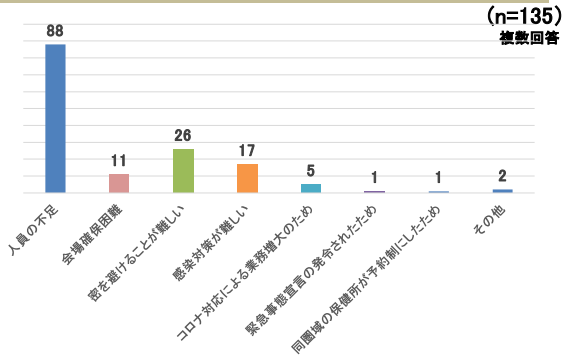


図14 COVID-19が検査体制に与えた影響について一受検者の属性は変化しましたか？ (2021年)

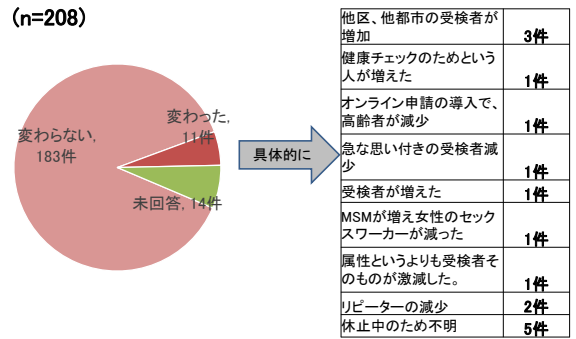


図15 COVID-19が検査体制に与えた影響について一来年の実施予定について (2021年)

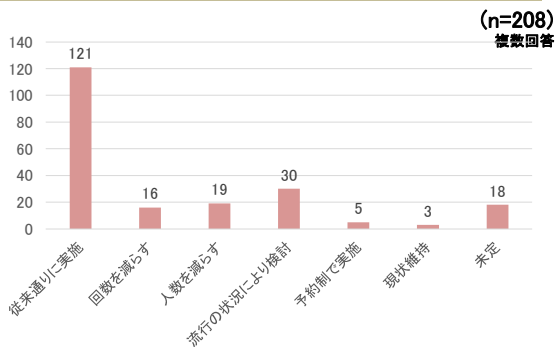


図16 HIV以外の性感染症検査を行っていますか？ (2021年)

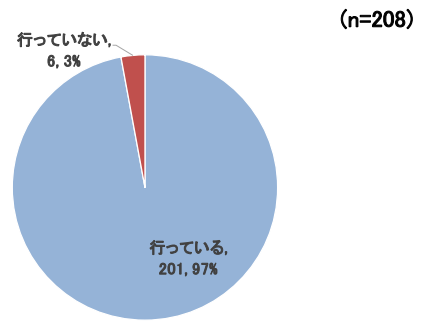


図17 HIV以外の性感染症検査を行っていますか？ (2021年)

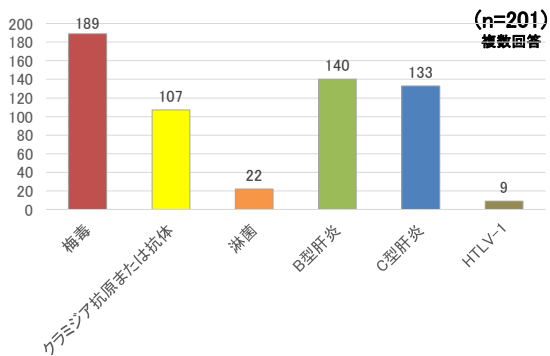


図18 検査結果について誤通知がありましたか？ (2021年)

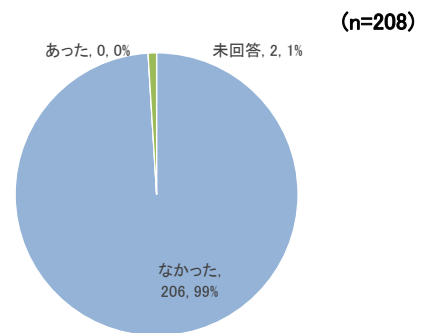


図19 (2021年) HIV検査陰性の証明書を発行していますか？

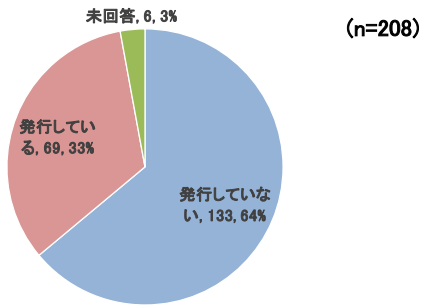


図20 (2021年) 証明書の発行は有料ですか？

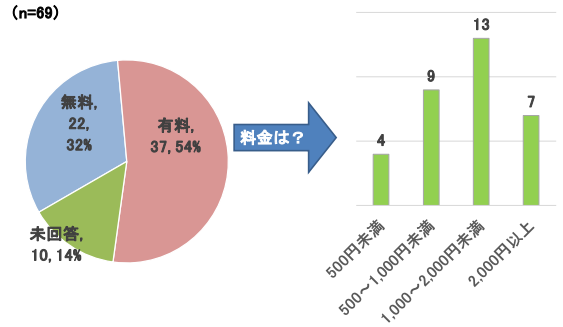


図21 (2021年) 証明書の発行は記名式ですか？

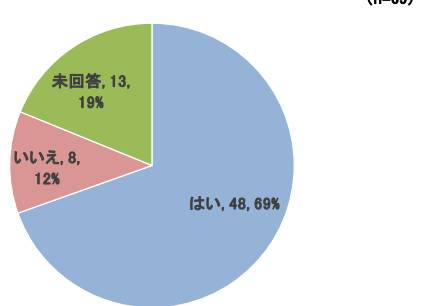


図22 (2021年) 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

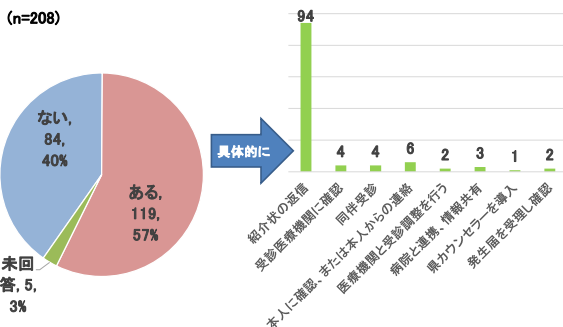


図23 (2021年) 受検者について把握している内容

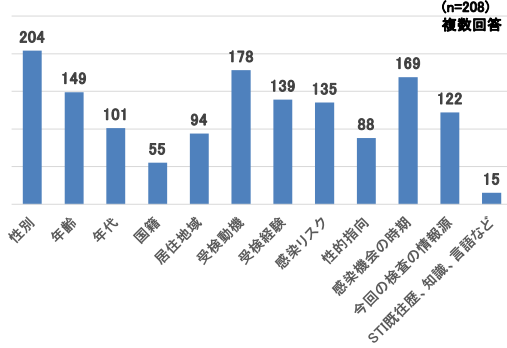


図24 (2021年) 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？

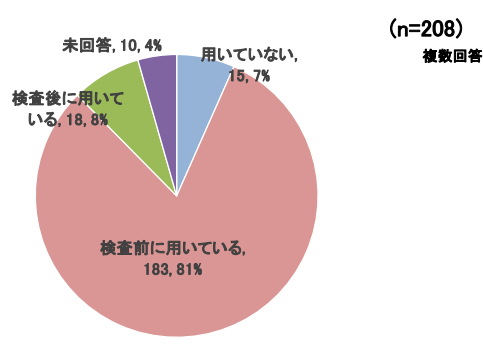


図25 (2021年)

職務中の血液暴露事故が受検動機
の受検者はいましたか？

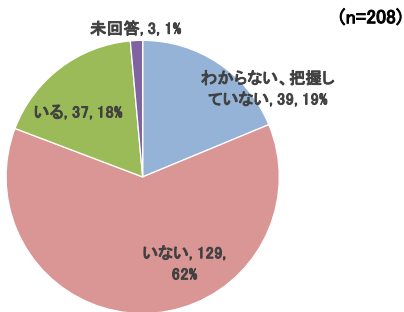


図26 (2021年)

職務中の血液暴露事故が受検動機
の受検者はいましたか？(職種)

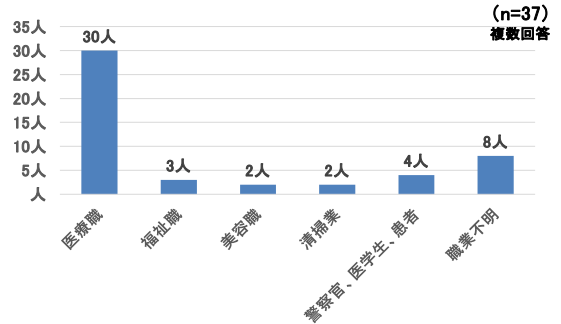


図27 (2021年)

中学生・高校生の検査希望者への対応は？

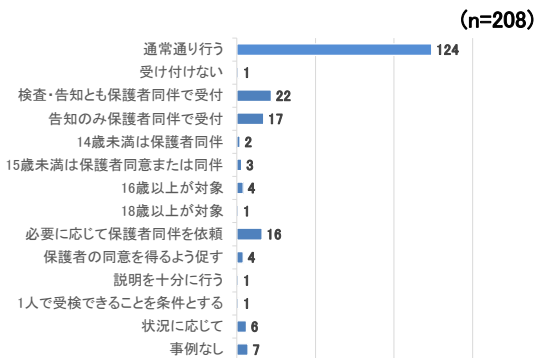


図28 (2021年)

日本語のわからない外国籍の人が
受検できる仕組みがありますか？

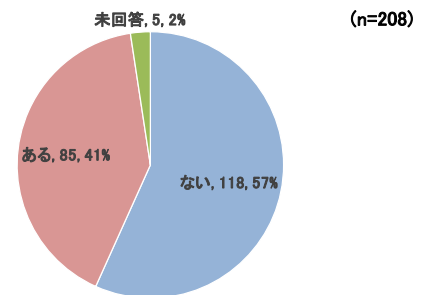


図29 (2021年)

日本語のわからない外国籍の人が受検できる
仕組みがありますか？

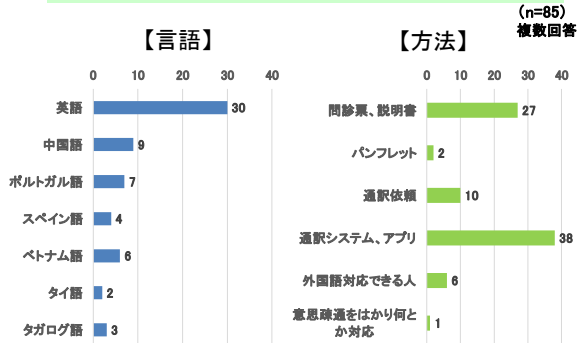


図30 (2021年)

他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の
結果を持参した受検者はいましたか？

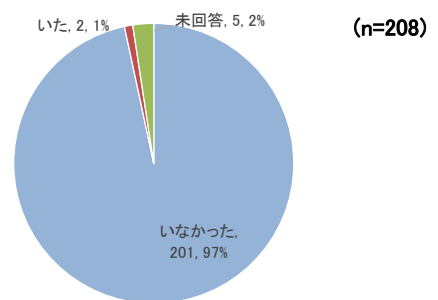


図31 (2021年)
受検者が採血に起因する体調不良等で医療機関受診が必要となった事例がありますか？

(n=208)

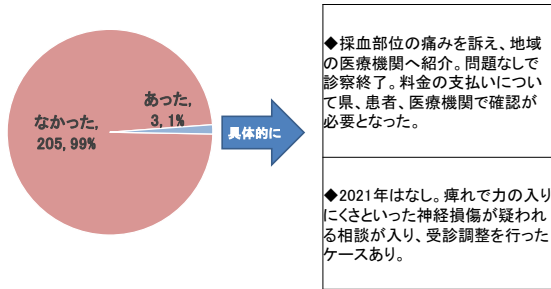


図32 (2021年)
保健所HIV検査
— 即日検査と通常検査 —

(n=208)

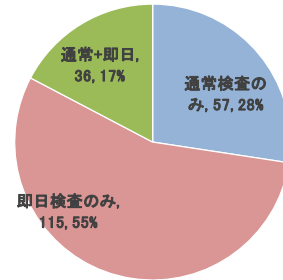


図33 (2021年)
保健所HIV検査
— 平日、夜間、土曜・日曜 —

(n=208)

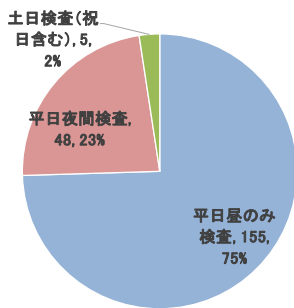


図34 (2021年)
各種HIV検査の実施状況 (保健所数の割合)

(n=208)

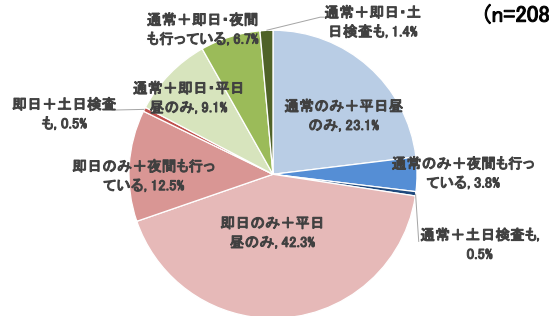


図35 (2021年)
各種HIV検査の受検者数

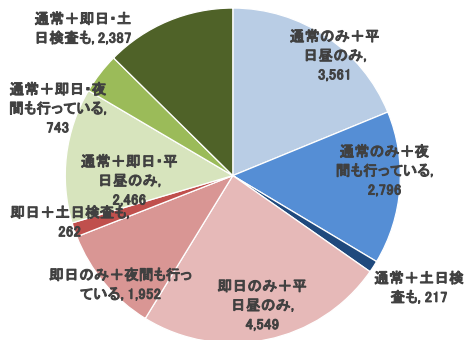
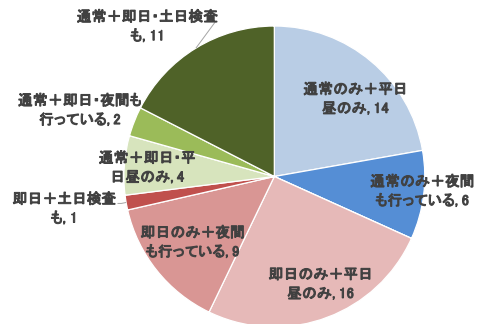


図36 (2021年)
各種HIV検査の陽性者数

(n=63)



R3年度保健所アンケート(HIV)

図37 (2021年) 各種HIV検査の実施状況

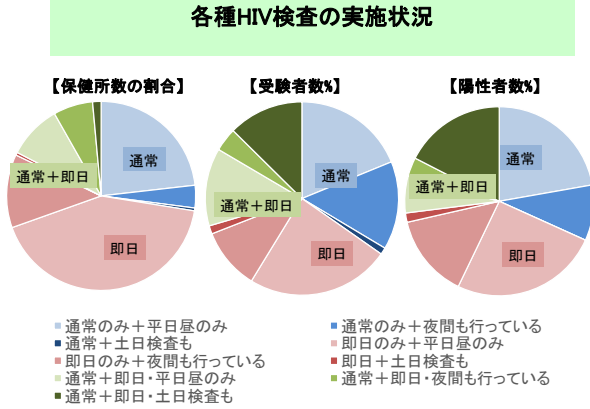


図38 (2021年) 実施曜日と時間帯

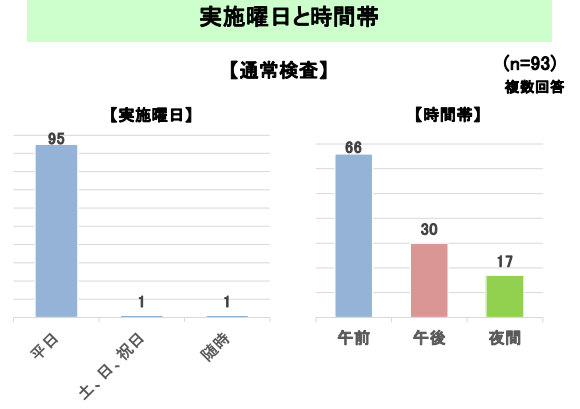


図39 (2021年) 検査の回数は?

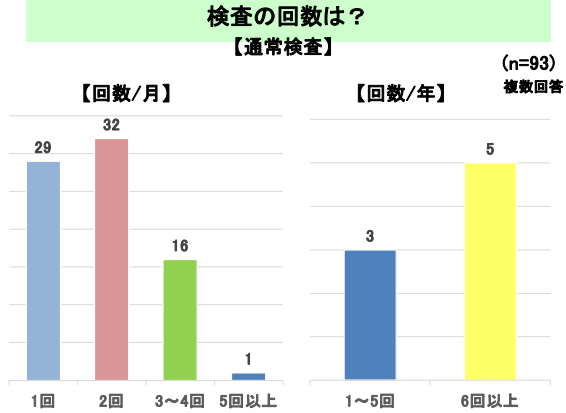


図40 (2021年) 検査は予約制ですか?

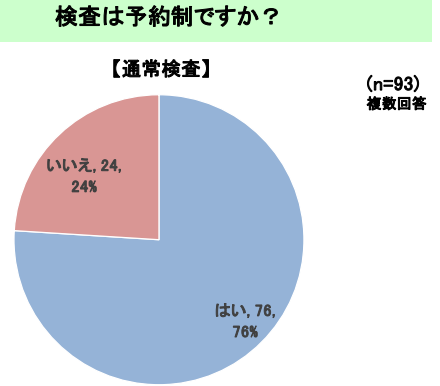


図41 (2021年) 結果返却のタイミングは?

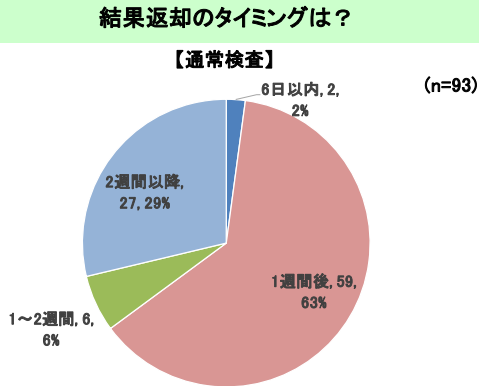
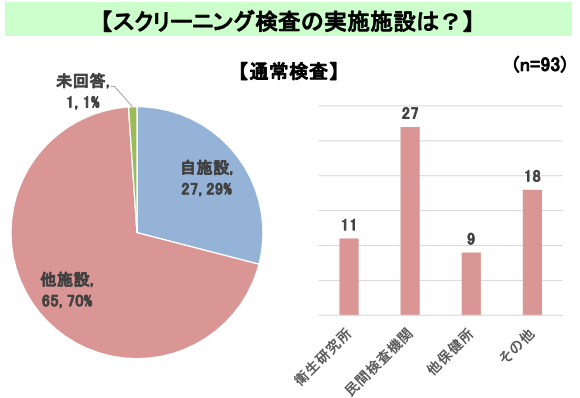


図42 (2021年) 【スクリーニング検査の実施施設は?】



R3年度保健所アンケート(HIV)

図43 確認検査の方法は？ (2021年) 【通常検査】 (n=93)

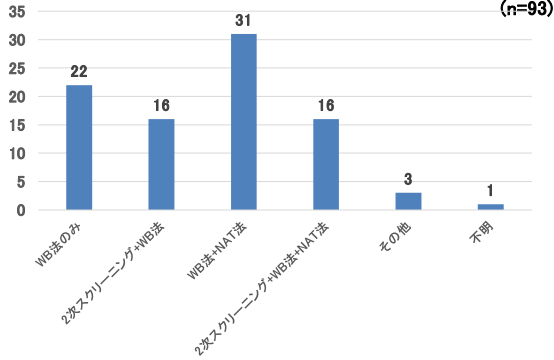


図44 確認検査の実施施設は？ (2021年) 【通常検査】 (n=93)

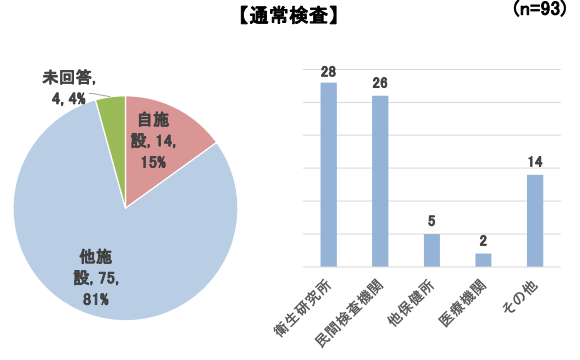


図45 実施曜日と時間帯 (2021年) 【即日検査】 (n=150) 複数回答

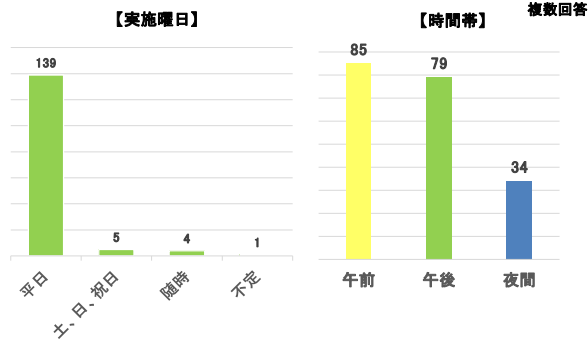


図46 検査の回数は？ (2021年) 【即日検査】 (n=151) 複数回答

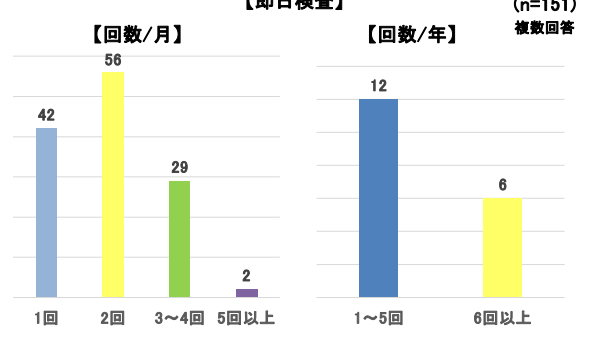


図47 検査は予約制ですか？ (2021年) 【即日検査】 (n=151) 複数回答

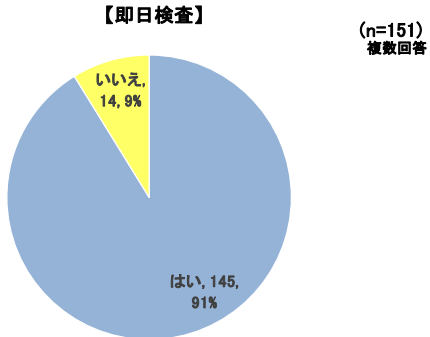


図48 確認検査の結果返却のタイミングは？ (2021年) 【即日検査】 (n=151)

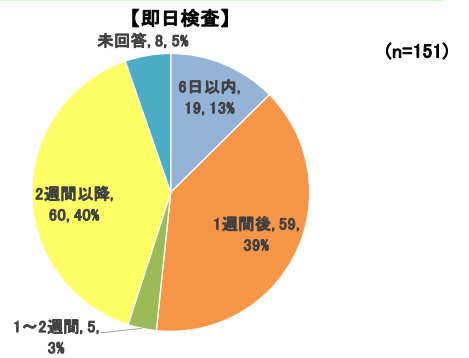


図49 (2021年)

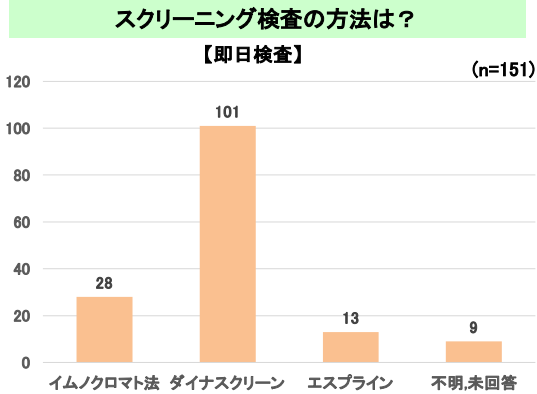


図50 (2021年)

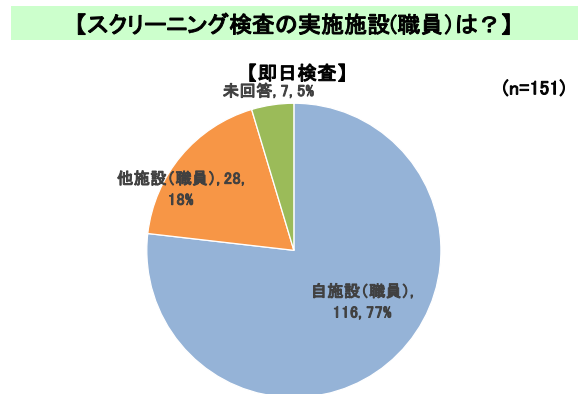


図51 (2021年)

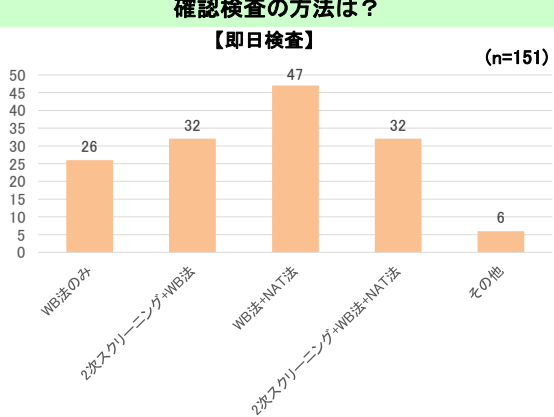


図52 (2021年)

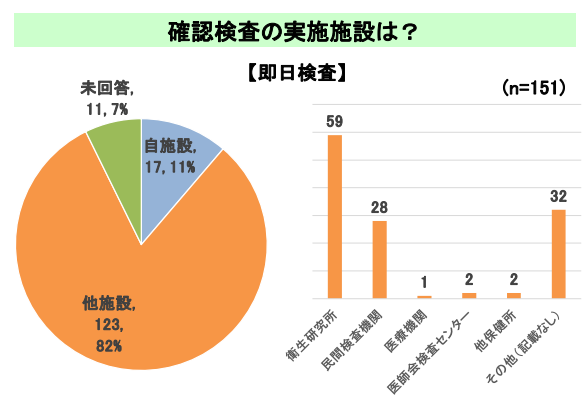


図53 (2021年)

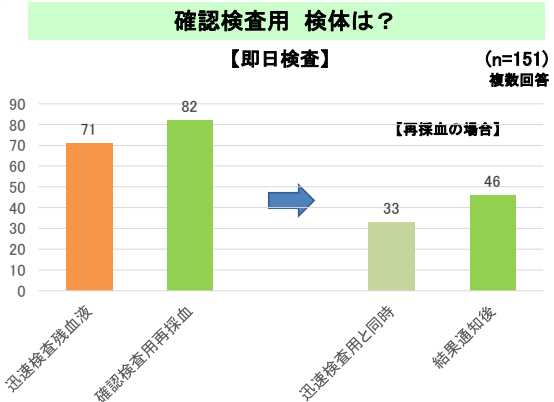
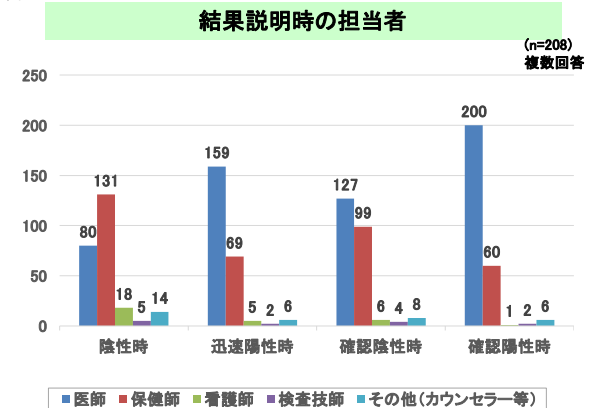


図54 (2021年)



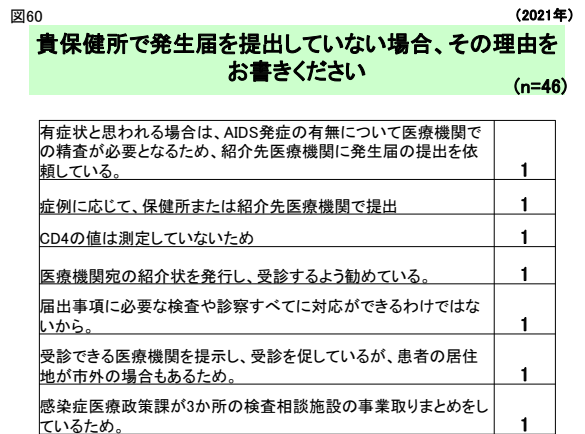
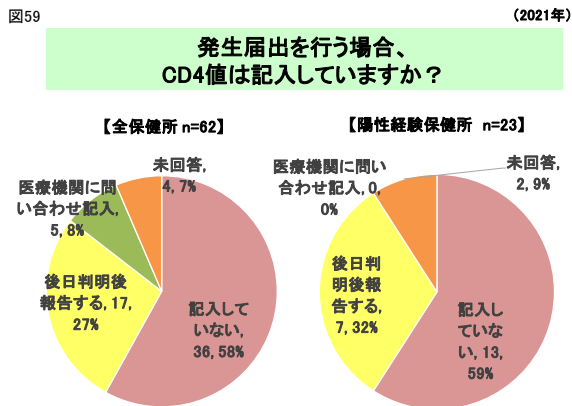
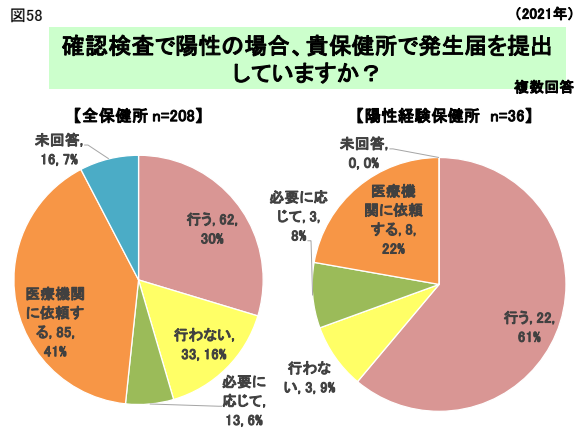
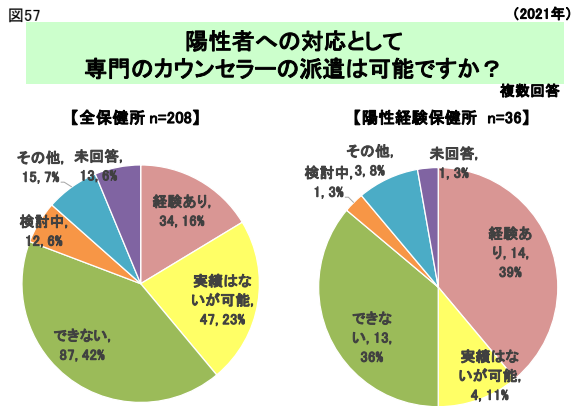
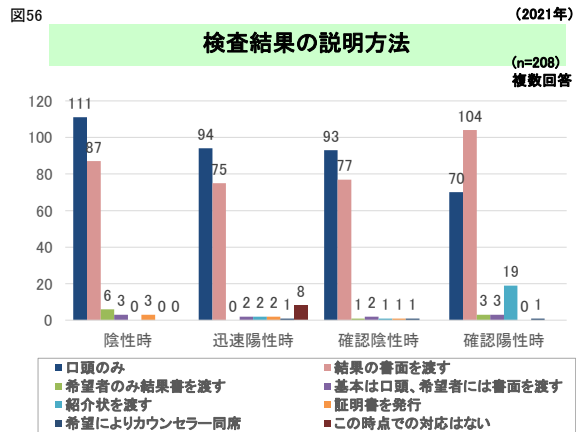
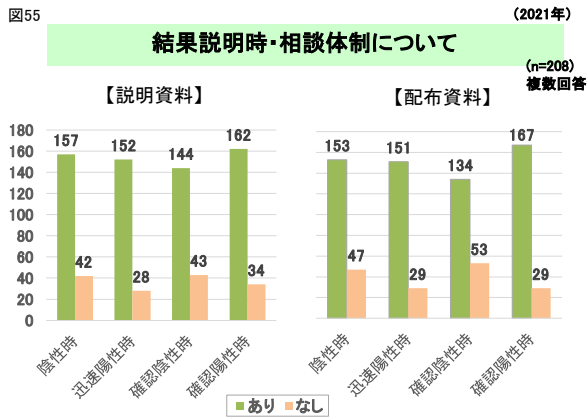
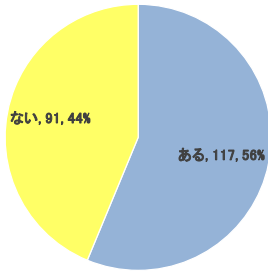


図61 (2021年)

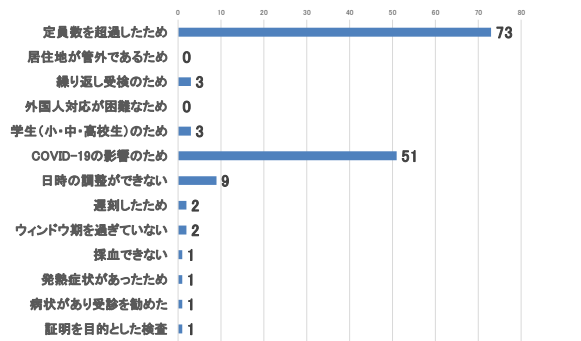
やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？



(n=208)

図62 (2021年)

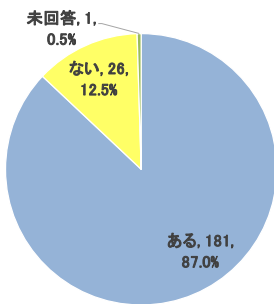
受け入れを断った理由は何ですか？



(n=175)
複数回答

図63 (2021年)

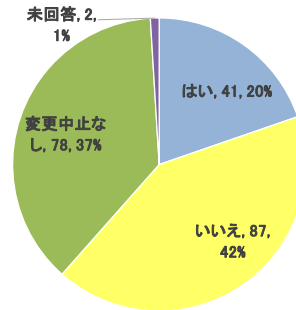
ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？



(n=208)

図64 (2021年)

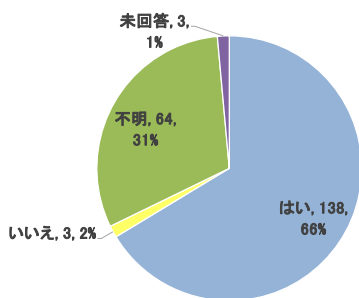
COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止になった際に「HIV検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？



(n=208)

図65 (2021年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？



(n=208)

特設-1 自治体特設検査相談施設等における HIV検査体制に関する全国調査の結果 (2022年2月26日)

特設機関アンケート 回答数 (2022.2/23現在) 14/ 17箇所 (82%)

2021年に陽性結果のあった特設検査機関 12/ 14箇所 (86%)

陽性件数 125 / 16,537 (陽性率 0.76%)

陽性結果を伝えられた件数 → 116 / 125 (95%)

受診したことを把握できた件数 → 83 / 116 (72%)

発生動向調査の報告を行った感染者数件数 → 82 / 125 (66%)

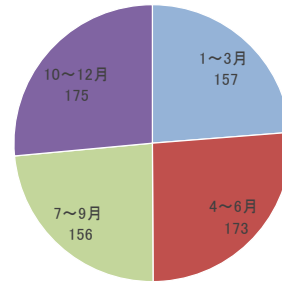
(陰性結果を伝えられた件数 → 15,852 / 16,412 (97%))

2022/3/6

特設-2 自治体特設検査施設 HIV検査 — 四半期ごとの検査数と陽性数 — (2021年)

【開催数】

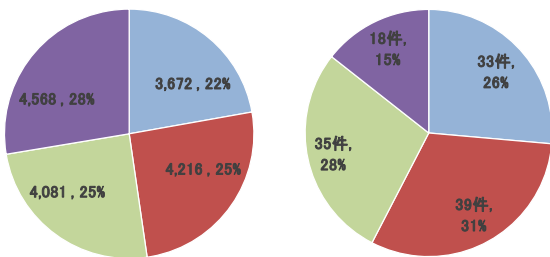
(n=14)



特設-3 自治体特設検査施設 HIV検査 — 四半期ごとの検査数と陽性数 — (2021年)

【検査数】

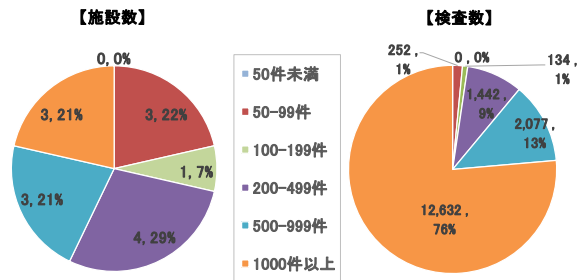
【陽性数】 (n=14)



■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

特設-4 年間検査件数別の施設数と検査数の割合 (2021年)

(n=14)

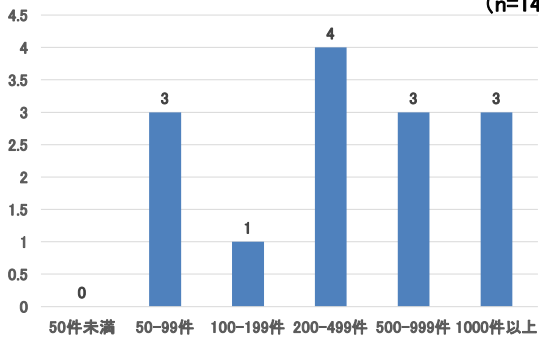


特設-5 年間検査件数別の施設数 (2021年)

(2021年)

年間検査件数別の施設数

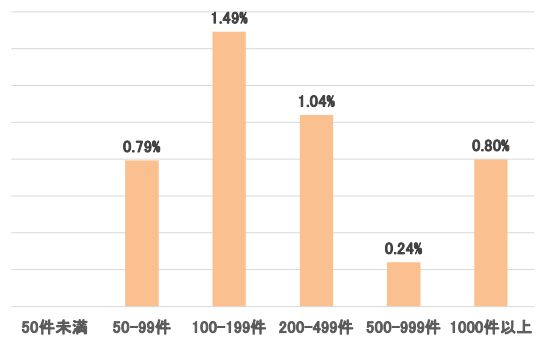
(n=14)



特設-6 年間検査件数別の陽性率 (2021年)

(2021年)

年間検査件数別の陽性率

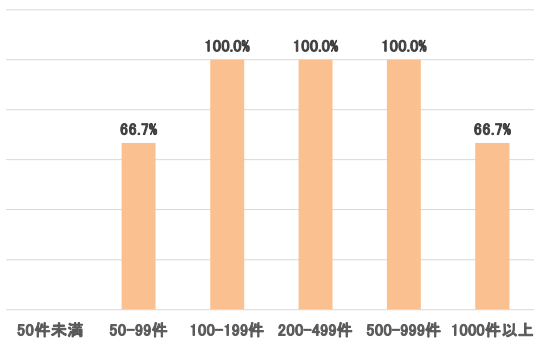


R3年度特設 アンケート(HIV)

特設-7

(2021年)

年間検査件数別の陽性経験率

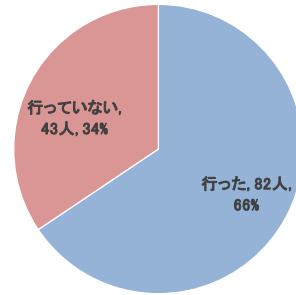


特設-8

(2021年)

発生届出を行った陽性者数

(n=125)

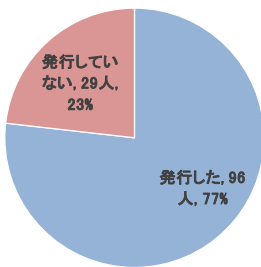


特設-9

(2021年)

医療機関への紹介状を発行した陽性者数

(n=125)

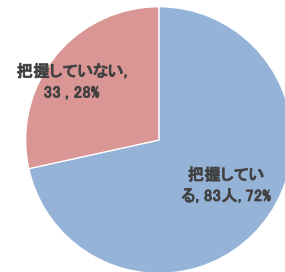


特設-10

(2021年)

医療機関を受診したことを把握できている陽性者数

(n=116)

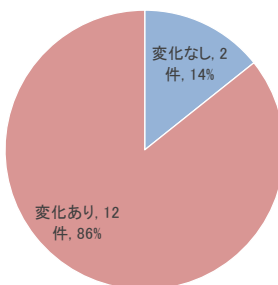


特設-11

(2021年)

COVID-19が検査体制に与えた影響について一実施体制に変化がありましたか？

(n=14)

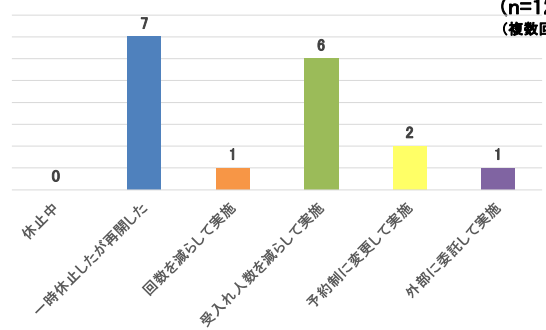


特設-12

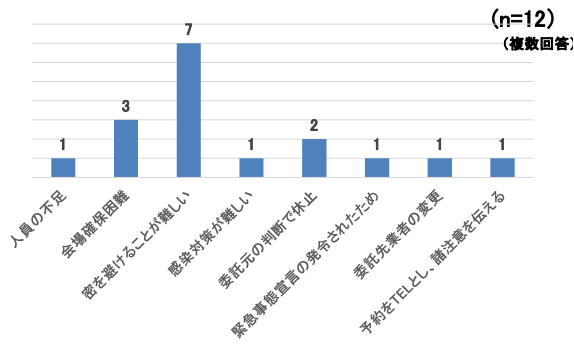
(2021年)

COVID-19が検査体制に与えた影響についてどのように変化しましたか？

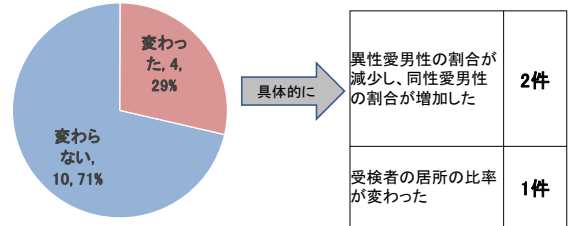
(n=12)
(複数回答)



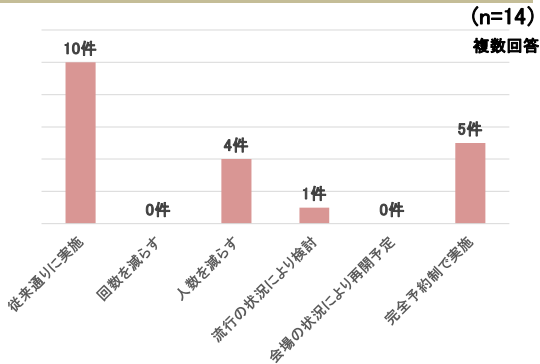
特設-13 COVID-19が検査体制に与えた影響について—
変化の理由を教えてください (2021年)



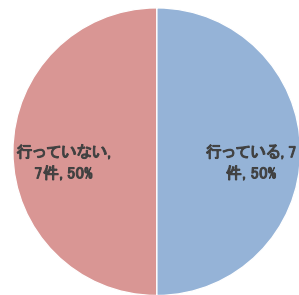
特設-14 COVID-19が検査体制に与えた影響について—
受検者の属性は変化しましたか？ (2021年)



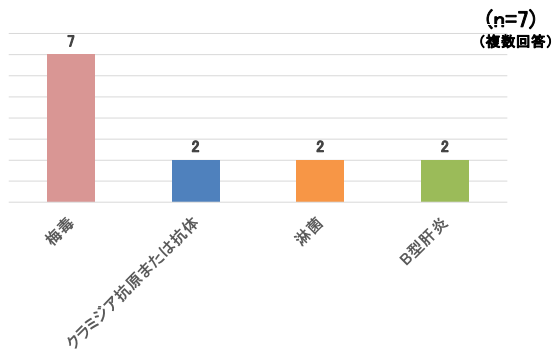
特設-15 COVID-19が検査体制に与えた影響について—
来年の実施予定について (2021年)



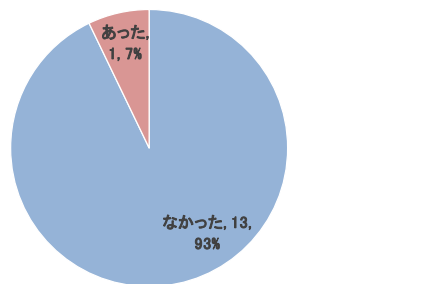
特設-16 HIV以外の性感染症検査を行っていますか？ (2021年)



特設-17 HIV以外の性感染症検査を行っていますか？ (2021年)



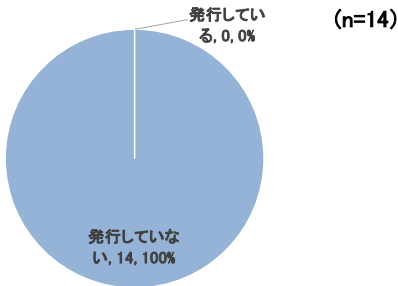
特設-18 検査結果について誤通知がありましたか？ (2021年)



R3年度特設 アンケート(HIV)

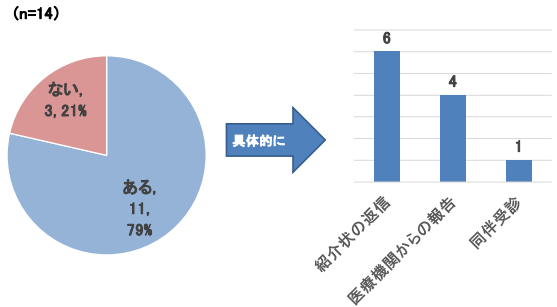
特設-19 (2021年)

HIV検査陰性の証明書を発行していますか？



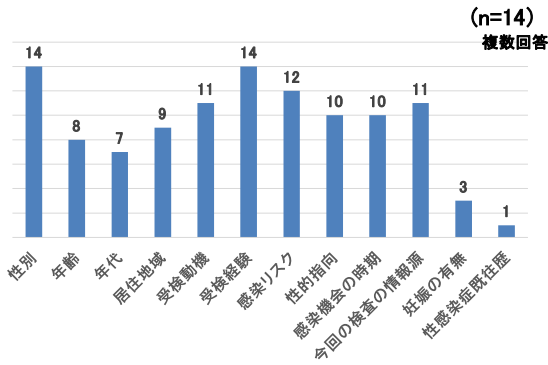
特設-20 (2021年)

陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？



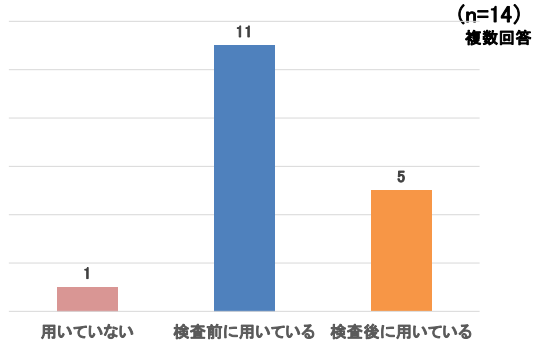
特設-21 (2021年)

受検者について把握している内容



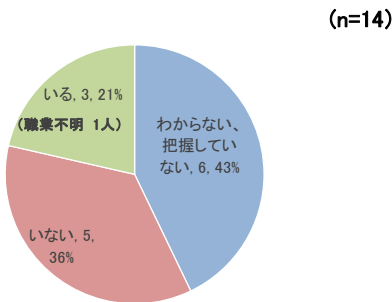
特設-22 (2021年)

受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？



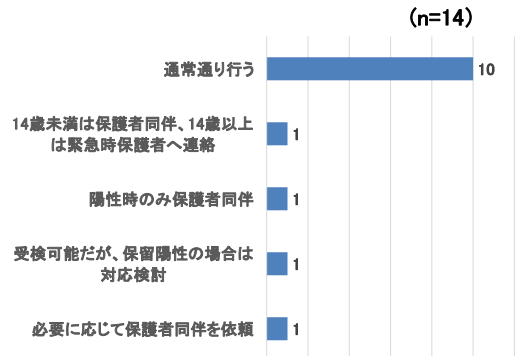
特設-23 (2021年)

職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？



特設-24 (2021年)

中学生・高校生の検査希望者への対応は？

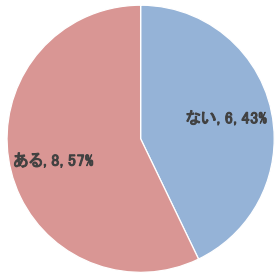


R3年度特設 アンケート(HIV)

特設-25 (2021年)

日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

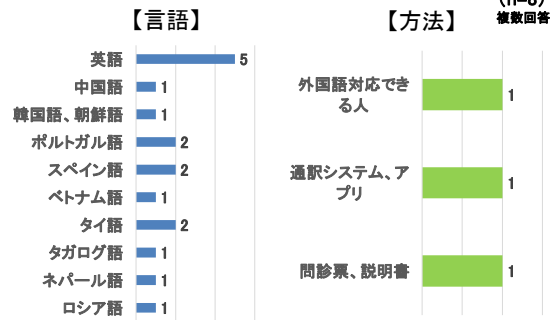
(n=14)



特設-26 (2021年)

日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

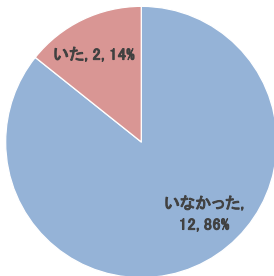
(n=8)
複数回答



特設-27 (2021年)

他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？

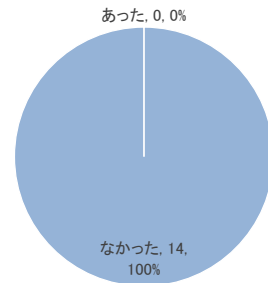
(n=14)



特設-28 (2021年)

受検者が採血に起因する体調不良等で医療機関受診が必要となった事例がありますか？

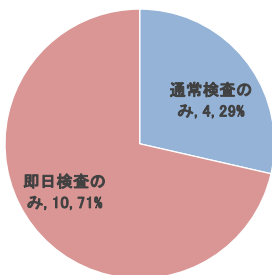
(n=14)



特設-29 (2021年)

施設 HIV検査
— 即日検査と通常検査 —

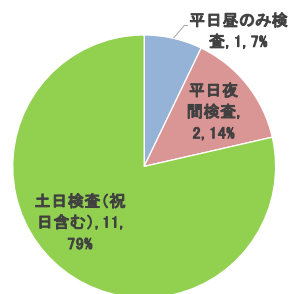
(n=14)



特設-30 (2021年)

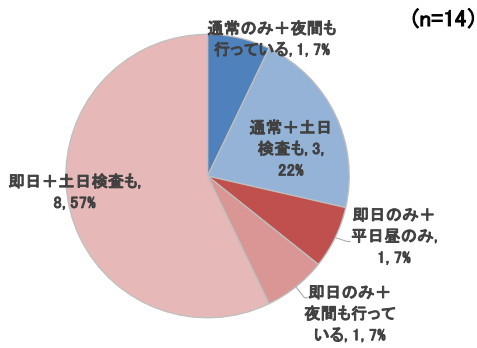
施設 HIV検査
— 平日、夜間、土曜・日曜 —

(n=14)

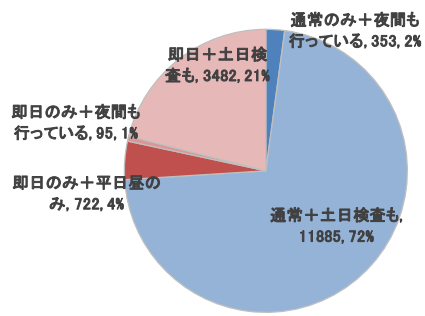


R3年度特設 アンケート(HIV)

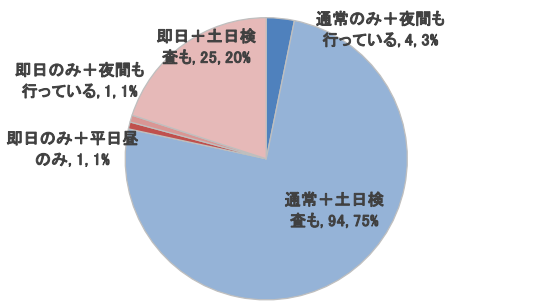
特設-31 (2021年) 各種HIV検査の実施状況 (施設数の割合)



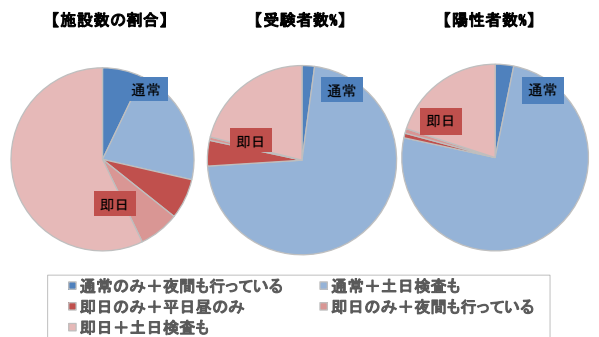
特設-32 (2021年) 各種HIV検査の受検者数



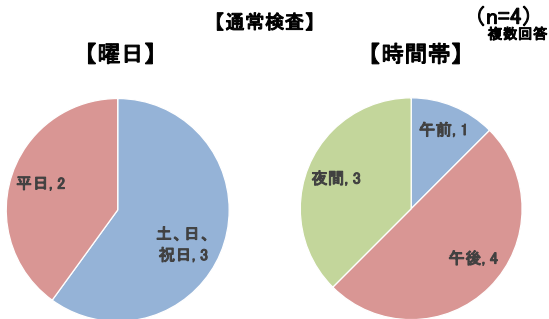
特設-33 (2021年) 各種HIV検査の陽性者数



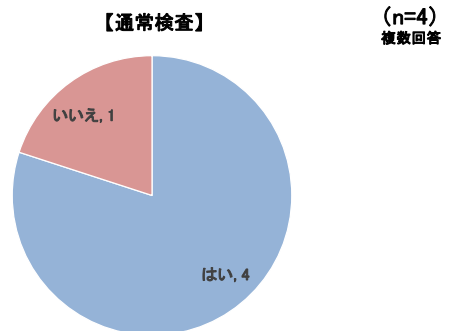
特設-34 (2021年) 各種HIV検査の実施状況



特設-35 (2021年) 実施曜日と時間帯



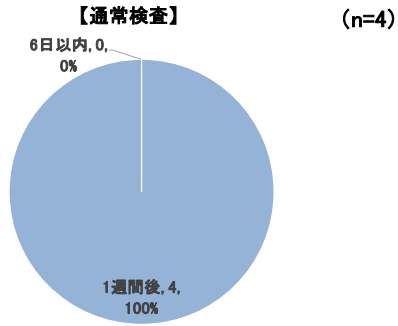
特設-36 (2021年) 検査は予約制ですか？



R3年度特設 アンケート(HIV)

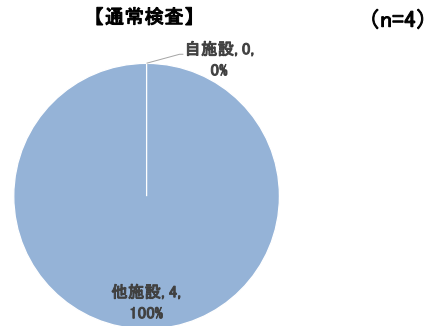
特設-37 (2021年)

結果返却のタイミングは？



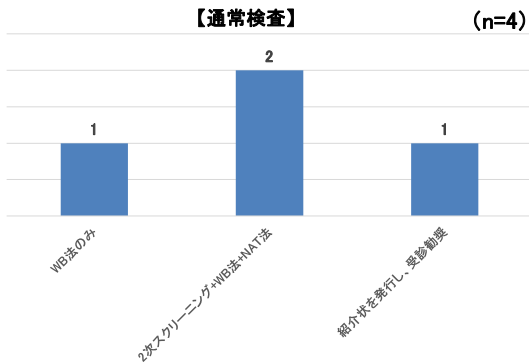
特設-38 (2021年)

【スクリーニング検査の実施施設は？】



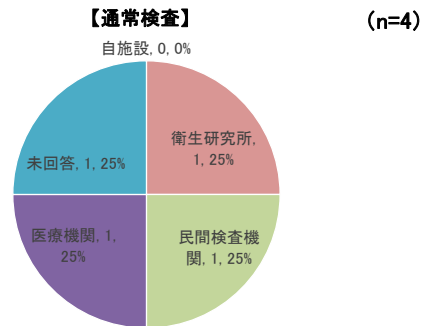
特設-39 (2021年)

確認検査の方法は？



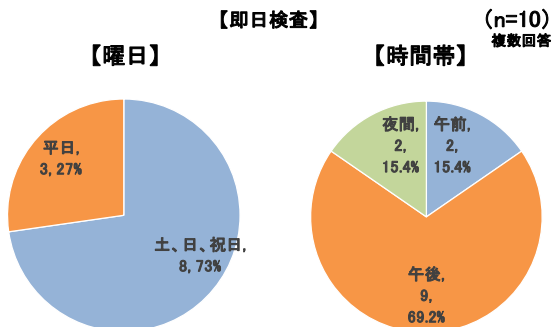
特設-40 (2021年)

確認検査の実施施設は？



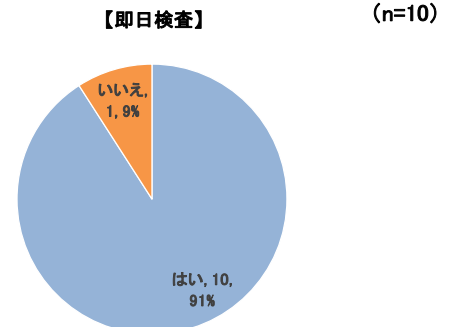
特設-41 (2021年)

実施曜日と時間帯



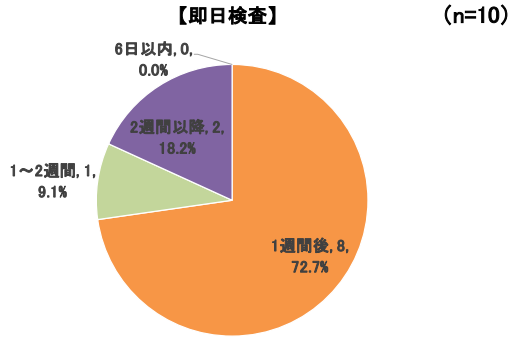
特設-42 (2021年)

検査は予約制ですか？



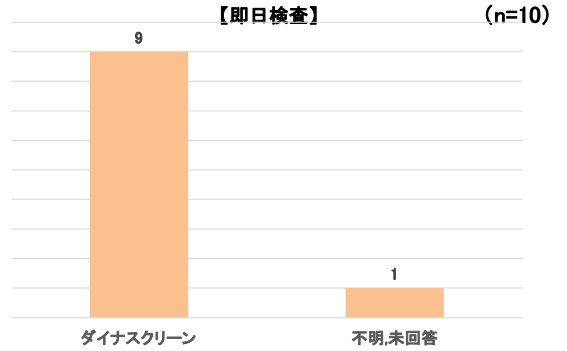
特設-43 (2021年)

結果返却のタイミングは？



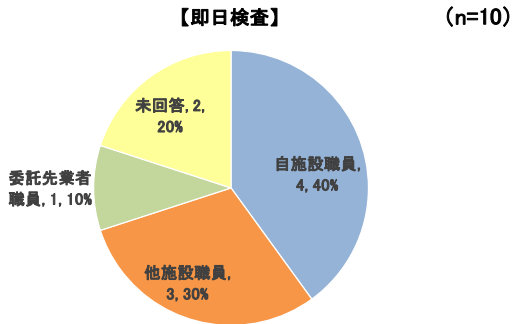
特設-44 (2021年)

スクリーニング検査の方法は？



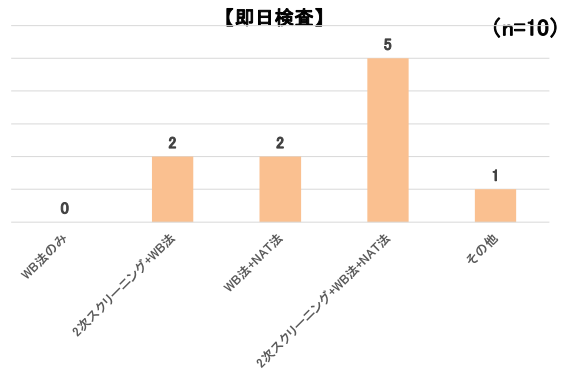
特設-45 (2021年)

【スクリーニング検査の実施職員は？】



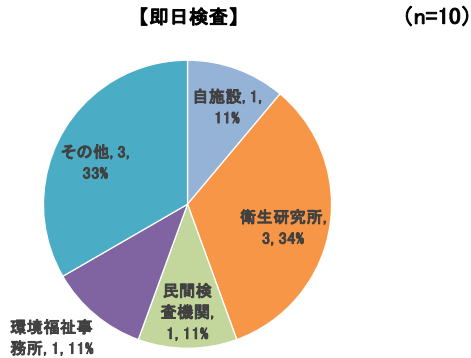
特設-46 (2021年)

確認検査の方法は？



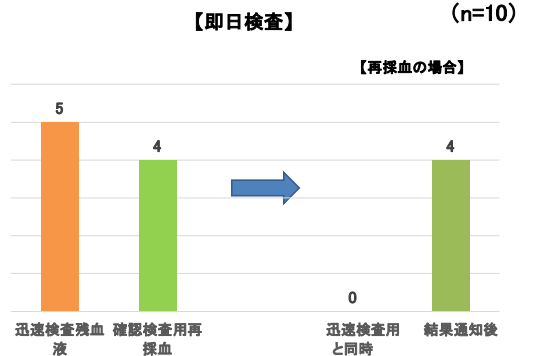
特設-47 (2021年)

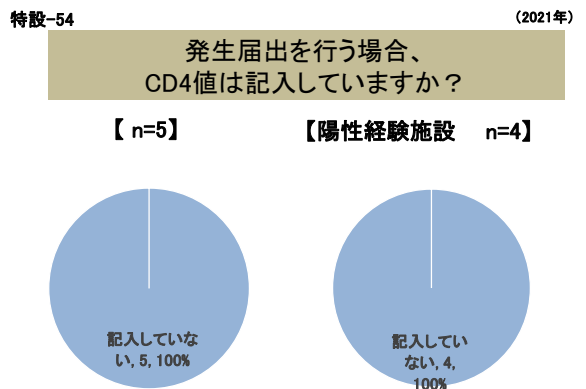
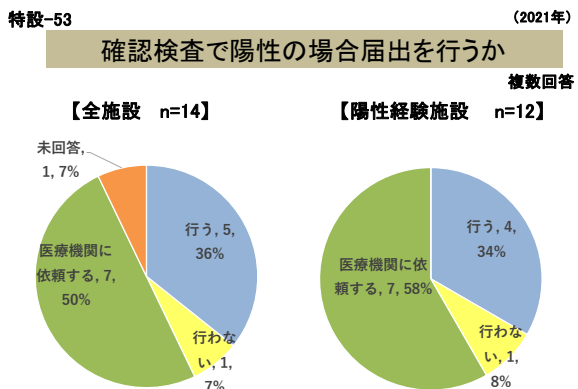
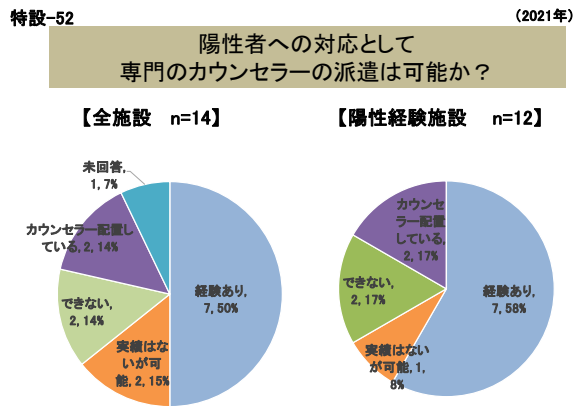
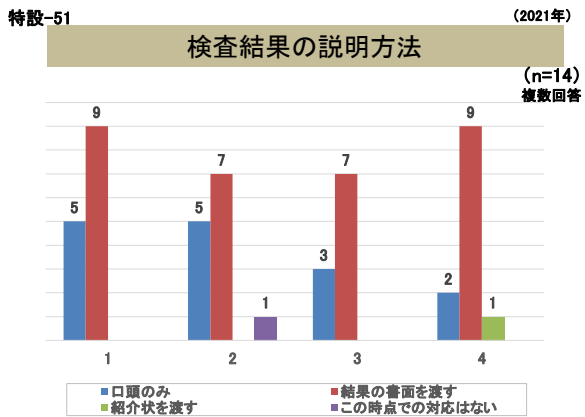
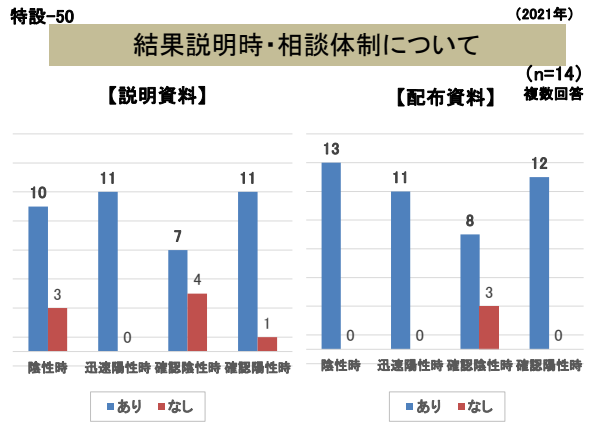
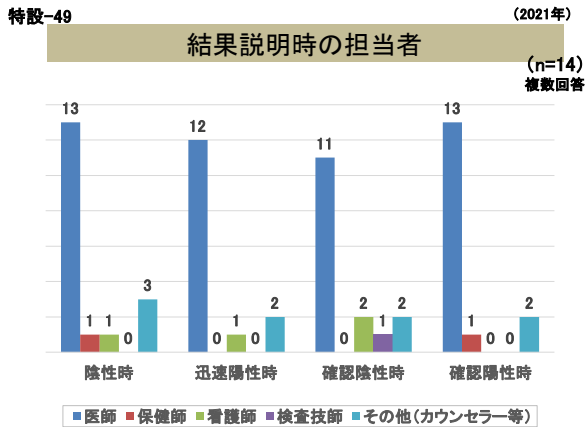
確認検査の実施施設は？



特設-48 (2021年)

確認検査用 検体は？





R3年度特設 アンケート(HIV)

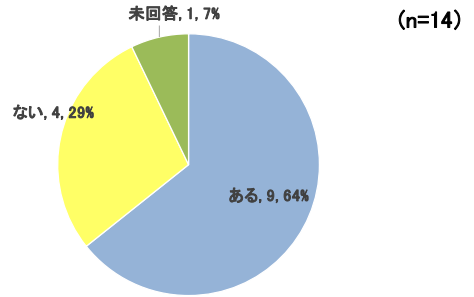
特設-55 (2021年)

貴施設で発生届を提出していない場合、その理由をお書きください

届出事項に必要な検査や診療のすべてに対応ができるわけではないから。	1
保健所が発生届を提出	1

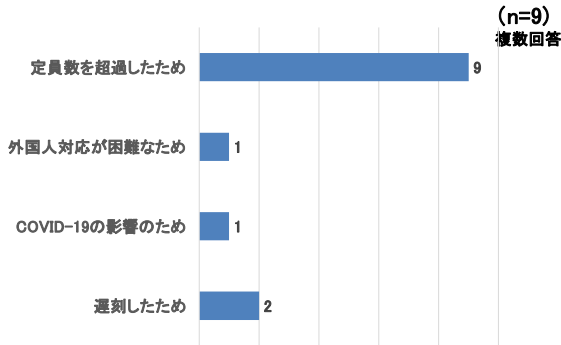
特設-56 (2021年)

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？



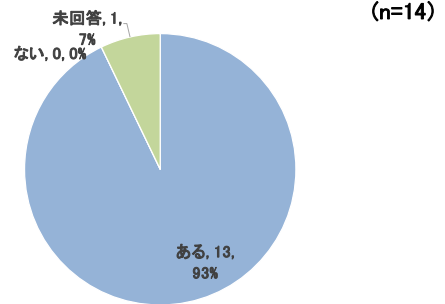
特設-57 (2021年)

受け入れを断った理由は何ですか？



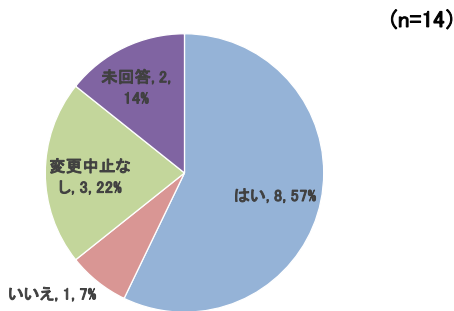
特設-58 (2021年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？



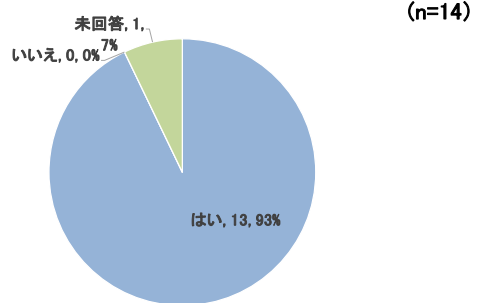
特設-59 (2021年)

COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止になった際に「HIV検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？

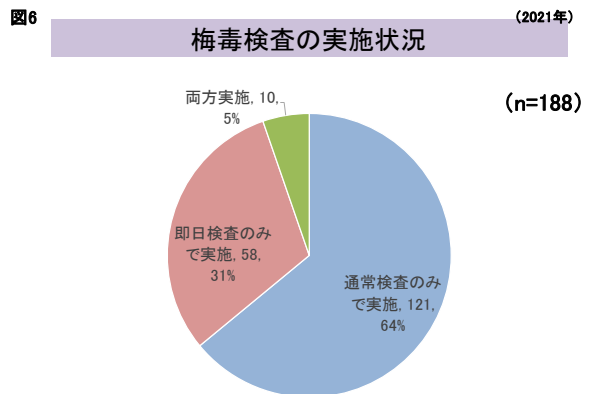
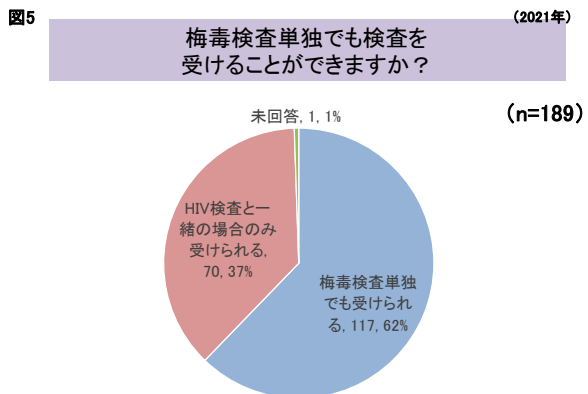
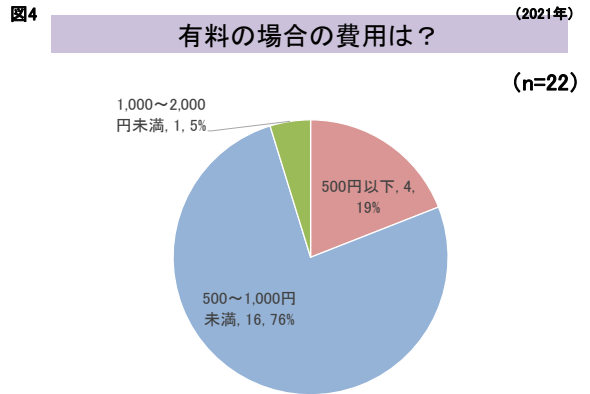
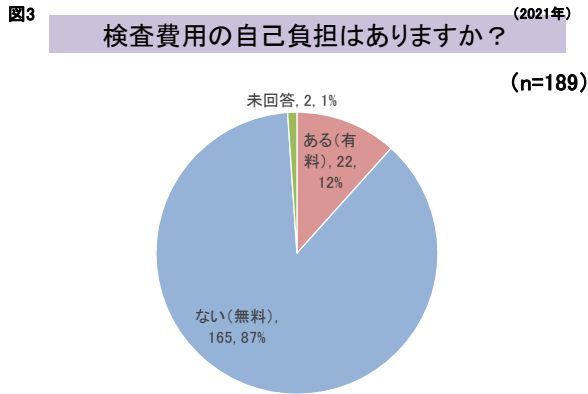
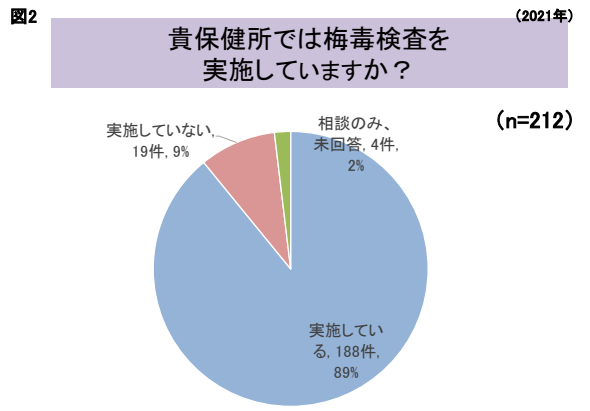
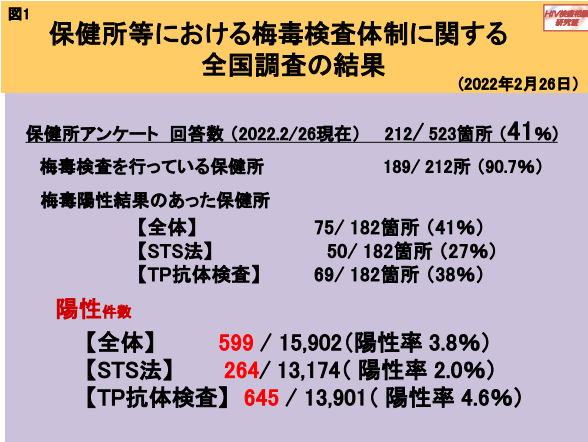


特設-60 (2021年)

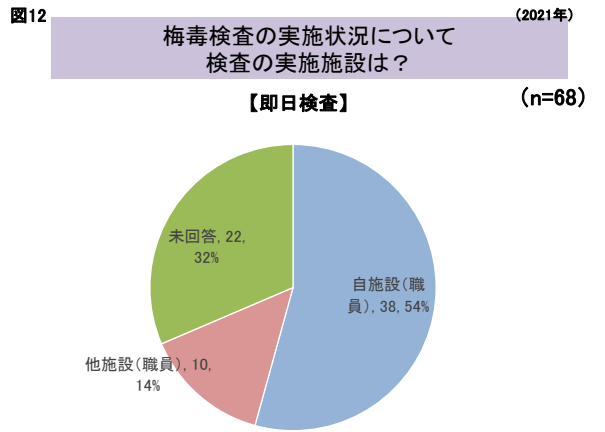
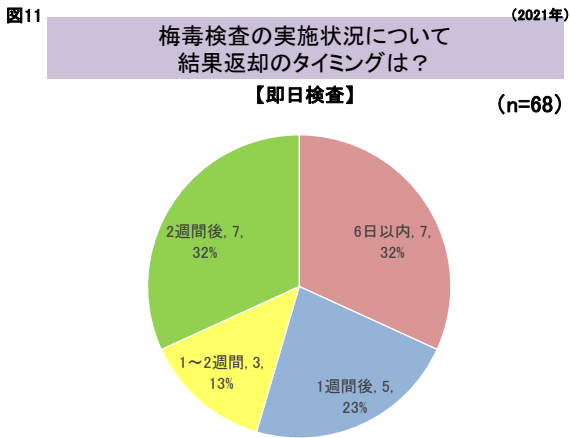
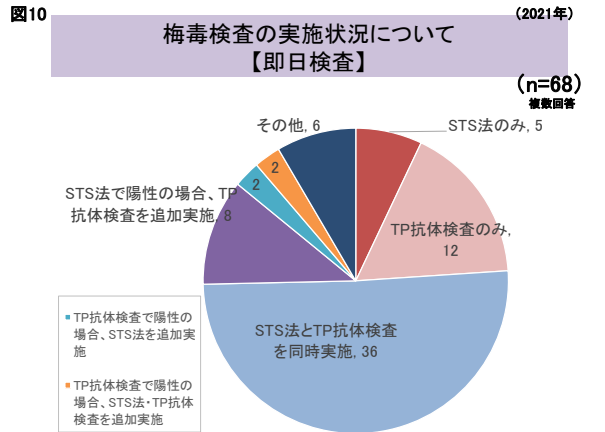
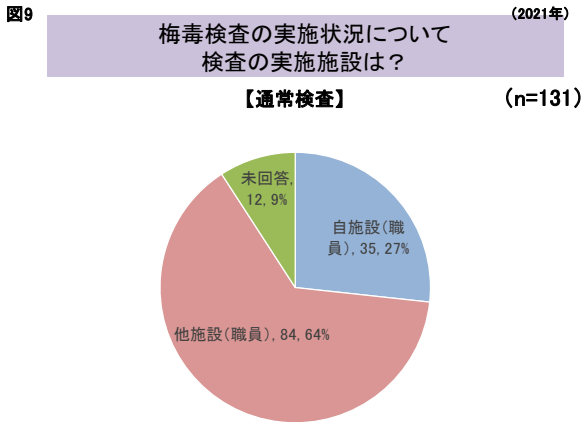
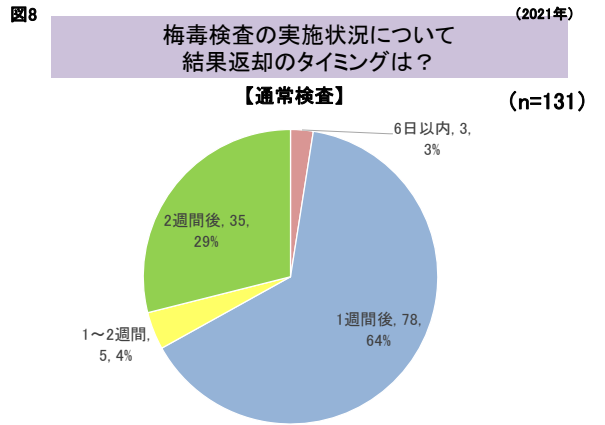
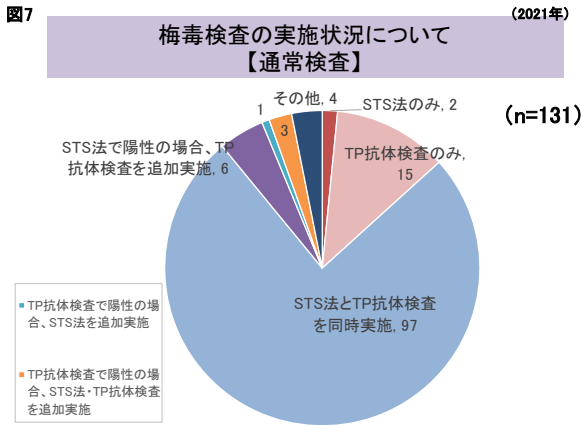
「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？



R3年度保健所アンケート(梅毒)



R3年度保健所アンケート(梅毒)



R3年度保健所アンケート(梅毒)

図13 (2021年) 1年間(2021年1~12月)の検査数・陽性数

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	15,902	梅毒陽性数	599	3.8%
うちSTS法検査数	13,174	うちSTS法陽性数	264	2.0%
うちTP抗体検査検査数	13,901	うちTP抗体検査陽性数	645	4.6%

図14 (2021年) 梅毒検査 検査数と陽性数

	R3	R2	R1	H30	H29	前年比	
検査実施保健所数	182	273	455	414	393	66.7%	
梅毒検査数	梅毒検査数(全体)	15,902	27,462	79,147	64,965	59,104	57.9%
	うちSTS法検査数	13,174	19,925	60,890	48,077	47,968	66.1%
	うちTP抗体検査検査数	13,901	24,498	70,708	48,708	45,109	56.7%
梅毒陽性数	陽性数(全体)	599	772	1,637	1,435	1,151	77.6%
	うちSTS法陽性数	264	316	876	752	639	83.5%
	TP抗体検査陽性数	645	785	1,953	1,494	1,211	82.2%
梅毒陽性率	陽性率(全体)	3.8%	2.8%	2.1%	2.2%	1.9%	135.7%
	うちSTS法陽性率	2.0%	1.6%	1.4%	1.6%	1.3%	125.0%
	TP抗体検査陽性率	4.6%	3.2%	2.8%	3.1%	2.7%	143.8%

図15 (2021年) 梅毒検査が陽性だった場合の対応は？

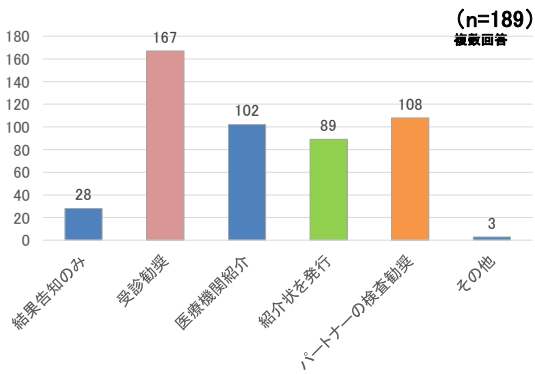


図16 (2021年) 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか？

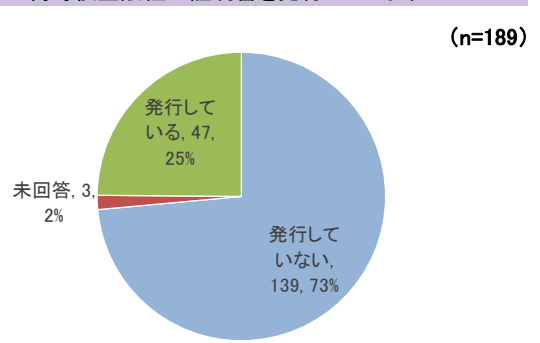


図17 (2021年) 証明書の発行は有料ですか？

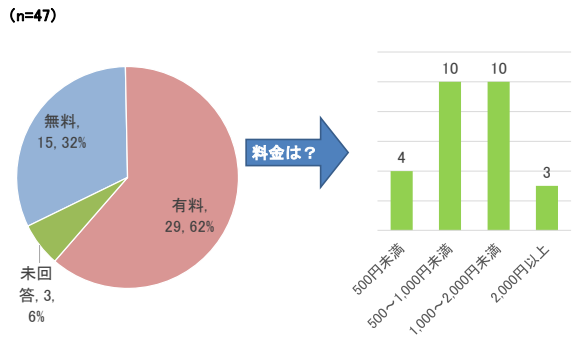


図18 (2021年) 証明書の発行は記名式ですか？

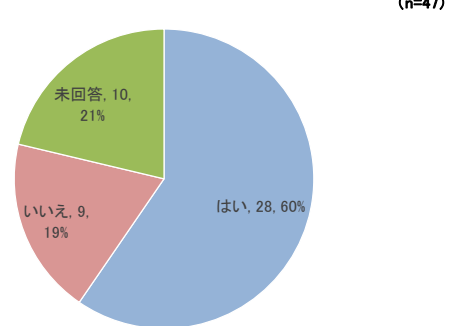
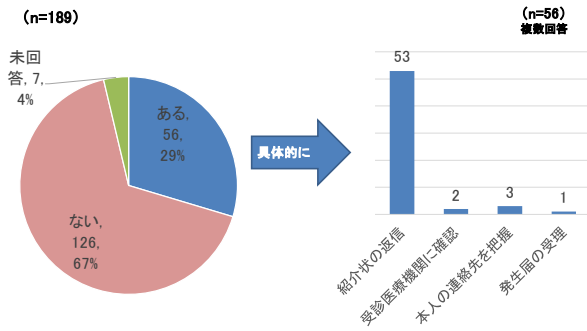


図19 (2021年)

陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？



R3年度特設アンケート(梅毒)

特設-1 **自治体特設検査施設等における梅毒検査体制に関する全国調査の結果** (2022年2月26日)

施設アンケート 回答数 (2021.2/23現在) 14/17箇所 (82%)

梅毒検査を行っている施設 7/14箇所 (50%)

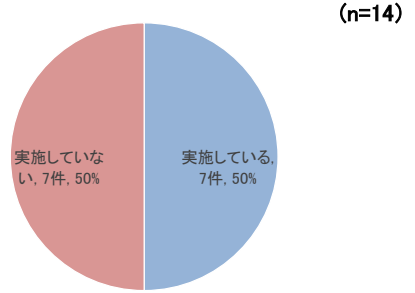
梅毒陽性結果のあった施設

【全体】	6/7箇所 (86%)
【STS法】	5/7箇所 (71%)
【TP抗体検査】	7/7箇所 (100%)

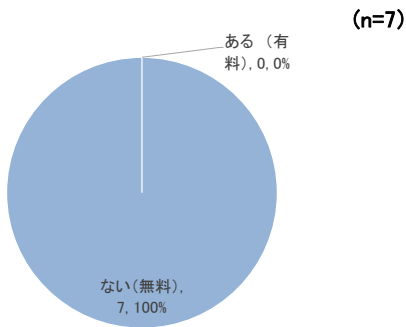
陽性件数

【全体】	521 / 14,347 (陽性率 3.6%)
【STS法】	407 / 4,400 (陽性率 9.3%)
【TP抗体検査】	1,317 / 5,047 (陽性率 26.1%)

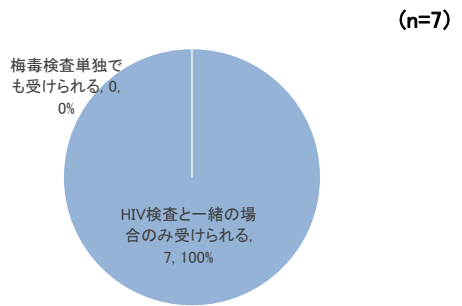
特設-2 **貴施設では梅毒検査を実施していますか？** (2021年)



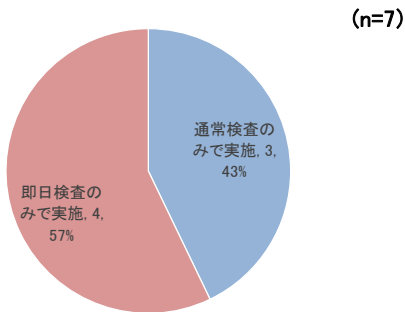
特設-3 **検査費用の自己負担はありますか？** (2021年)



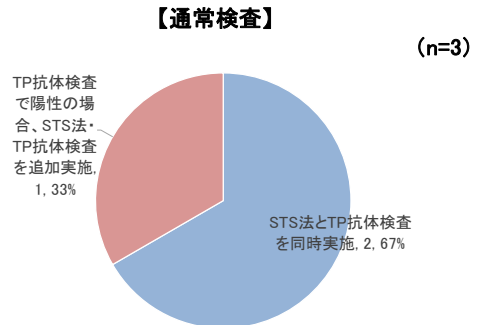
特設-4 **梅毒検査単独でも検査を受けることができますか？** (2021年)



特設-5 **梅毒検査の実施状況** (2021年)



特設-6 **梅毒検査の実施状況について** (2021年)

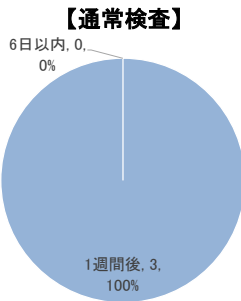


R3年度特設アンケート(梅毒)

特設-7 (2021年)

梅毒検査の実施状況について
結果返却のタイミングは？

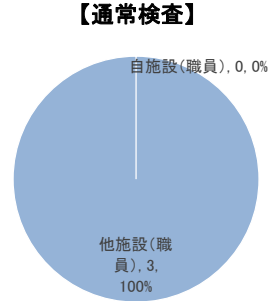
(n=3)



特設-8 (2021年)

梅毒検査の実施状況について
検査の実施施設は？

(n=3)

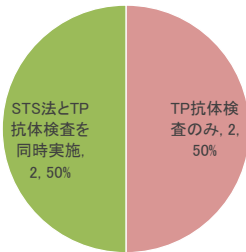


特設-9 (2021年)

梅毒検査の実施状況について

【即日検査】

(n=4)

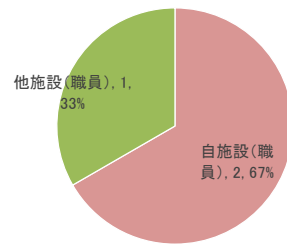


特設-10 (2021年)

梅毒検査の実施状況について
検査の実施施設職員は？

【即日検査】

(n=4)



特設-11 (2021年)

1年間(2021年1~12月)の
検査数・陽性数

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	14,347	梅毒陽性数	521	3.6%
うちSTS法検査数	4,400	うちSTS法陽性数	407	9.3%
うちTP抗体検査検査数	5,047	うちTP抗体検査陽性数	1,317	26.1%

特設-12 (2021年)

梅毒検査 検査数と陽性数

	R3	R2	R1	H30	H29	前年比	
検査実施保健所数	7	9	9	12	11	77.8%	
検査数	全体	14,347	18,629	23,728	24,436	12,611	77.0%
	うちSTS法検査数	4,400	4,504	6,019	5,917	9,220	97.7%
	うちTP抗体検査検査数	5,047	8,059	23,169	19,484	5,548	62.6%
陽性数	全体	521	1,176	732	724	671	44.3%
	うちSTS法陽性数	407	433	133	320	566	94.0%
	うちTP抗体検査陽性数	1,317	1,117	813	973	661	117.9%
陽性率	全体	3.6%	6.3%	3.1%	3.0%	5.3%	57.5%
	うちSTS法陽性率	9.3%	9.6%	2.2%	5.4%	6.1%	96.2%
	うちTP抗体検査陽性率	26.1%	13.9%	3.5%	5.0%	11.9%	188.3%

R3年度特設アンケート(梅毒)

